

公益社団法人
伊勢志摩観光コンベンション機構

令和7年度 定時総会

日 時：令和7年6月20日（金） 午後2時00分～

場 所：三重県伊勢庁舎4階 401会議室

令和7年度定時総会次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 出席者の報告

4. 議長の選出について

5. 議事録署名人について

6. 議 事

第1号議案

役員の選任案について

(P.1～P.3)

第2号議案

令和6年度事業報告案及び収支決算報告案について

(P.4～P.42)

第3号議案

令和7年度収支補正予算案について

(P.43～P.51)

7. 報告事項

正会員の入会の報告

(P.52～P.53)

8. その他

9. 閉 会

第 1 号 議案

役員を選任案について

役員の選任案について

定款第 24 条より、当機構役員の辞任に伴い、今回新たに下記候補者を役員に選任したい。

なお、新たな役員の任期は、前任者の任期の満了する令和 8 年度定時総会までとする。

【候補者】

役職	候補者氏名	備考
理事	小竹 篤	新任
理事	浦野 克雄	新任

【退任者】

理事	中村 欣一郎	退任
理事	久保田 重人	退任

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構 役員名簿案

(新)			(旧)	
役員	氏 名	所 属 ・ 役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
理事	鈴木 健 一	伊勢市長	鈴木 健 一	伊勢市長
理事	小 竹 篤	鳥羽市長	中村 欣一郎	鳥羽市長
理事	橋 爪 政 吉	志摩市長	橋 爪 政 吉	志摩市長
理事	上 村 久 仁	南伊勢町長	上 村 久 仁	南伊勢町長
理事	濱 田 典 保	公益社団法人 伊勢市観光協会会長	濱 田 典 保	公益社団法人 伊勢市観光協会会長
理事	原 田 佳代子	一般社団法人 鳥羽市観光協会会長	原 田 佳代子	一般社団法人 鳥羽市観光協会会長
理事	中 村 滋	一般社団法人 志摩市観光協会会長	中 村 滋	一般社団法人 志摩市観光協会会長
理事	水 島 徹	伊勢商工会議所専務理事	水 島 徹	伊勢商工会議所専務理事
理事	清 水 清 嗣	鳥羽商工会議所専務理事	清 水 清 嗣	鳥羽商工会議所専務理事
理事	出 口 勝 美	志摩市商工会会長	出 口 勝 美	志摩市商工会会長
理事	迫 間 優 子	鳥羽旅館事業協同組合理事長	迫 間 優 子	鳥羽旅館事業協同組合理事長
理事	生 川 哲 也	三重県観光部部長	生 川 哲 也	三重県観光部部長
理事	河 俣 英 人	株式会社赤福 取締役本部長	河 俣 英 人	株式会社赤福 取締役本部長
理事	山 本 寛	近鉄グループホールディングス 株式会社 執行役員伊勢志摩支社長	山 本 寛	近鉄グループホールディングス 株式会社 執行役員伊勢志摩支社長
理事	嶋 崎 俊	東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 運輸営業部営業課課長	嶋 崎 俊	東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 運輸営業部営業課課長
理事	堀 尾 芳 隆	近畿日本ツーリスト株式会社 執行役員中日本支社長	堀 尾 芳 隆	近畿日本ツーリスト株式会社 執行役員中日本支社長
理事	浦 野 克 雄	三重交通株式会社 常務取締役	久保田 重人	三重交通株式会社 専務取締役
理事	須 崎 充 博	公益社団法人 伊勢志摩観光コンベンション機構 専務理事	須 崎 充 博	公益社団法人 伊勢志摩観光コンベンション機構 専務理事
監事	山 岡 克 樹	公益社団法人三重県観光連盟 専務理事兼事務局長	山 岡 克 樹	公益社団法人三重県観光連盟 専務理事兼事務局長
監事	粕 本 源 秀	株式会社志摩スペイン村 専務取締役	粕 本 源 秀	株式会社志摩スペイン村 専務取締役

第 2 号 議 案

令和 6 年度

事業報告案及び収支決算報告案について

令和6年度事業報告案

くまとめ

令和6年度は、令和7年度より第63回神宮式年遷宮の諸行事が始まるのに合わせて、前回の式年遷宮におけるプロモーション効果の課題分析や伊勢志摩が持つ課題を踏まえ、次期遷宮に向けた中長期的なプロモーション戦略に必要な骨子要素の設計を行い、事業コンセプトを決定しました。

またそれに伴い、令和7年3月8日、9日にはいせしませんぐう旅キックオフイベントを行い、多くの方々にお越しいただきました。

プロモーション事業においては、伊勢志摩地域への旅行需要を拡大させるため、国内・海外に向け積極的に誘客を展開しました。

国内誘客では、大都市圏プロモーションとして、令和7年度に行われる大阪・関西万博から伊勢志摩地域へ誘客を図るため、観光展へ出展し、伊勢志摩地域のプロモーションを実施しました。メディアを活用したプロモーションでは、三重テレビ放送「新・ええじゃないか」で「伊勢志摩特集」の放送を行い、プロモーションを行いました。

一方でインバウンド事業については、東京でインバウンドツアーの取扱いのある国内旅行会社との商談会を開催した他、タイ・シンガポール・フランスなど現地でのセールスや商談会に参加し、積極的に国内外でのプロモーション活動を実施しました。また、令和7年2月には、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町が連携した3市長と関係者により、伊勢志摩地域がインバウンド事業を進めるうえでの主要国の一つとして捉えている香港へのトップセールスを実施し、香港から伊勢志摩への送客増加を目的とした連携強化を図りました。さらには、国の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」において全国の14地域のモデル地の一つに伊勢志摩とその周辺地域が選ばれており、令和6度に作成したマスタープランに基づき事業を実施しました。

令和7年度においては、令和6年度の取組をさらに推し進め、伊勢志摩の観光産業の増益と、それによる伊勢志摩経済圏の活性化を目指します。

令和6年度 事業報告

I 課題解決に向けた重点項目

令和7年3月31日現在

(1)国内誘客プロモーション事業(基本戦略1:効果的な伊勢志摩の発信の一部)

① 伊勢志摩せんぐう旅博事業

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 遷宮に向けた中・長期企画の取組み	「遷宮」のプロモーションと連携し、観光キャンペーンに参加した観光客が感動し次への期待感につながるよう強力な企画力と強烈的な推進力で事業を進める。	・令和6年1月29日に第1回伊勢志摩せんぐう旅博実行委員会が開催され、実行委員会が設立された。 ・前回の式年遷宮におけるプロモーション効果の課題分析や伊勢志摩が持つ課題を踏まえ、次期遷宮に向けた中長期的なプロモーション戦略に必要な骨子要素の設計を行った。 ・いせしませんぐう旅事業コンセプトを決定し、令和7年3月8日、9日キックオフイベントを実施した。 - 伊勢志摩特産品販売会(2日間) 154点 10万円以上の売上 - 伊勢志摩内の中学生以下への満喫チケット配布(2日間)
イ 地域の機運醸成	住民への意識啓発が難しい課題であるという認識に立ち、関係機関、関係団体などと連携を深めて、住民を意識した(巻き込む)イベントづくりを進める。 民間事業者が主体となって、国内外の観光客への「おもてなし」の心、職場の環境改善、地域との連携協力など課題解決を進める。	○公共交通を活用した伊勢志摩周遊デジタル推進事業(第1弾プレゼントキャンペーン) ・委託業者:アド近鉄 ・契約期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日 ・イベント開始:R6年7月20日～R6年8月31日 ・事業内容:周遊促進・滞在期間延長等を目的にデジタルチケットの購入金額によりAコース(3,000円以上)、Bコース(1,000円以上)の伊勢志摩の特産品や体験チケットが当たる抽選へ応募できる内容となっている。 ■実績 ・LPアクセス数:83,442 ・Aコース応募者数:17名 ・Bコース応募者数:5名 ○公共交通を活用した伊勢志摩周遊デジタル推進事業(第2弾プレゼントキャンペーン) ・委託業者:アド近鉄 ・契約期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日 ・イベント開始:R6年11月1日～R7年1月31日 - 周遊促進・滞在期間延長等を目的に伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町・明和町を対象にAコース(デジタルスタンプラリー)とBコース(デジタルチケット5,000円以上購入)を設定し、伊勢志摩の特産品や体験チケットが当たる抽選へ応募できる内容となっている。 ■実績 ・LPアクセス数:85,355 ・Aコース応募者数:282名 ・Bコース応募者数:39名

② 誘客プロモーション事業

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 大阪・関西万博(令和7年)をフックにした誘客プロモーション	大阪・関西万博の機会をフックに「神宮」や「遷宮」をテーマに、歴史・文化の繋がりが魅力的なストーリーを紐づけた伊勢志摩が一体となったプロモーションを実施する。具体的には、万博300日前イベントやツーリズムEXPOへ出展し、伊勢志摩のプロモーションを実施する。	100.0%
イ メディアを活用した誘客プロモーション	三重テレビ放送「新・ええじゃないか」を活用し、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の旬の話題やお得な情報などを発信し、関西・中部地域だけでなく、全国から伊勢志摩へ観光客の流入を図る。	100.0%

(2)高付加価値なインバウンド観光地づくり【基本戦略2:インバウンドの取組強化の一部】

① 高付加価値なインバウンド観光地づくりの基盤整備(DMCと連携強化)

事業項目	事業概要	実績・効果
ア	マスタープランに基づく取組み 高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル地として、マスタープランの策定とそのマスタープランの実現に向けた事業を実施する。 ・マスタープランの策定とエリアブランディング(調査関係) ・域内経済循環調査 ・受入環境の整備(通訳案内士確保や二次交通対策、クオリティコントロール) ・HPやSNSなどの魅力発信戦略 ・マーケティング人材等の確保	令和6年度(マスタープラン2年目)の目的として掲げた実態把握と機運醸成は一定の達成を図ることができた。一方で、新たな課題も可視化できた。 <定性的評価> ●令和6年度の本事業において、「観光基盤の構築」に着手するため、伊勢志摩における各観光分野を細分化し、徹底的に「現状把握」を実施。関係者(観光施設・宿泊施設・小売業・ガイド・交通)のへの調査を実施した。その過程における直接的なコミュニケーションを通じ、事業に対する「理解促進」と「意識改革」が進んだ ●外部の専門事業者を活用しつつ、地域な事業者をチームに参画することで地域へのノウハウ蓄積が図れた ●調査過程において、「ポテンシャル」の発掘を図ることができた ●マスタープランのアップデートに向け、「コアバリューの改訂」「ターゲットの精緻化」を行なった <定量的評価> ●経済波及効果調査の実施により、より明確な定量的KPIが設定可能となった ●本年の最優先課題であった「地域への理解促進と機運醸成」に関し、「高付加価値インバウンド地域づくりネットワーク」に53社が参画(令和7年1月31日時点)
イ	DMC設立と組織体制づくり 高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル地として、高付加価値インバウンドの誘客に向けDMCの設立準備を行う。設立に向けた地域事業者との関係構築、情報共有、機運醸成等の取組を実施。	同上
ウ	コネクション形成 日本国外のコネクションの形成、充実に取り組む。 欧米豪メディア・旅行会社を対象としたセールス・ファミトリップのほか、インフルエンサー・有識者(KOL・富裕層関係者)を招聘。	同上

(3)伊勢志摩デジタル化推進事業(伊勢志摩観光型MaaS)基本戦略4:受入環境の整備の一部】

① 伊勢志摩観光型MaaS

事業項目	事業概要	実績・効果
ア	公共交通と連携した観光周遊促進 WEB広告、MaaSを活用したキャンペーンなどのプロモーションを展開する。 各自治体が進めるレンタサイクルや混雑情報などとの連携を検討する。 みえ旅おもてなしプラットフォームにデータを蓄積し、プロモーションなどに活用する。 伊勢志摩観光型MaaS推進協議会にて事業内容について協議する。	・デジタルマップPV数:238,183pv ・デジタルマップ利用ユーザー数:131,366人 ・LPのPV数:237,209PV ・LPのアクティブユーザー数(訪問者数):161,824人 イベントを開催したことにより、デジタルマップのPV数及び利用者数が増加し、またクーポンの利用者数も利用回数も目標に達し、デジタルマップを利用した伊勢志摩地域の周遊及び消費拡大へ繋げることができた。

Ⅱ 伊勢志摩観光振興プランに基づく事業

【基本戦略1】効果的な伊勢志摩の発信

- ① 伊勢志摩せんぐう旅博【I-課題解決に向けた重点項目-(1)に掲載】
- ② 誘客プロモーション【I-課題解決に向けた重点項目-(1)に掲載】
- ③ インターネットによる情報発信

事業項目	事業概要	実績・効果
ア ホームページ・SNSでの 情報発信	公式SNS(Instagram、X(旧Twitter)、Facebook、LINE)を活用して、各SNSの特色に合わせた形式で、年間を通じて観光情報等を継続的に発信する。 ・時期に応じた記事の作成・提供 ・動画や写真 等を活用した投稿 フォロワー数・いいね数10%up	・伊勢志摩観光ナビ(4/1～3/31の実績) ページビュー数:6,047,978ページビュー (前年度同期間比102%) セッション数:3,062,884セッション (前年度同期間比103%) ・各SNSフォロワー数(3/31時点) facebookいいね数 13,921 (年度当初比102%) instagramフォロワー数 9,240人 (年度当初比132%) twitter フォロワー数 7,905人 (年度当初比114%)
イ 運用の強化	観光スポット情報や特集記事を充実させ、幅広く情報提供を図る。 特集記事は従来の記事掲載に加え、閲覧者が体験しやすく理解しやすい記事を作成する。 公式サイト掲載用の写真を厳選し、サイトのビジュアル面の強化を図る。	・特集記事 : 42本制作・情報更新 (伊勢志摩レポーター9本含む) ・特集記事の内容を更新 ・スポット記事:約167件追加
ウ LINE公式アカウント	LINE公式アカウントを活用し、月1回程度(年12回)、観光情報等の情報を発信する。	・LINE公式アカウント友だち数:50,540名(3/31時点) (年度当初48,561名 年度当初比:約104%) ・メッセージ配信数:341,381通 開封率:34.9% クリック率:4.2%

④ パンフレットによる情報発信

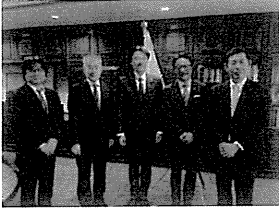
事業項目	事業概要	実績・効果
伊勢志摩観光ガイドブック 「美し国伊勢志摩」	「美し国伊勢志摩」108,000部増刷予定	観光パンフレット「美し国伊勢志摩」の増刷を行った。 また、増刷に伴い、パンフレット内の情報を更新した。 

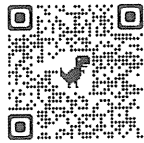
【基本戦略2】インバウンドの取組強化

① 受入環境の整備

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 訪日外国人受入環境整備支援事業 ※令和5年度をもち、当該事業の三重県からの業務委託は終了。	伊勢志摩地域の事業者の共通課題解決に向けたセミナーや合同セールスの実施を予定。 <セミナー(案)> ・SDGsセミナー ・大阪・関西万博に係るセミナー ・DX関係(人員不足解消や顧客管理、データの活用方法など)等々 <合同セールス> ・国内ランドオペレーターセールス(東京、大阪、京都、その他地域) ・海外合同セールス(東アジア、東南アジア)	【セミナー】 ・香港市場からの誘客のポイントや地域の受入れ体制の必要性を地域事業者を共通認識を持つことができた。 ・OTA活用の必要性や今後の整備について知識を得ることができた。 【合同セールス】 ・国内:6社/送客済:3社 伊勢志摩地域の紹介、新しい担当社向けのファミトリップを受注。各旅行会社からの送客のポイントなどをヒアリング。 ・海外:37社(香港5社、タイ12社、台湾16社、フランス4社) 送客済:5社(確認が取れているAGT数) インバウンド団体ツアー補助金(4社申請/3社承認)のPR。伊勢志摩地域の紹介。各旅行会社からの送客のポイントなどをヒアリング、ファミトリップの受注。
イ ホームページ改修	令和3年度に大規模改修をした多言語版HP特集記事の翻訳・作成業務 大阪・関西万博に向けた特集記事の作成を外部に委託し、HPへ掲載する。 (英、仏、繁、韓)	【特集記事テーマ】 <式年遷宮について(英語)>  ページビュー数:506 ※2025年 3月末数値 <食(繁体字)>  ページビュー数:1562 ※2025年 3月末数値
ウ パンフレット作製	繁体字パンフレットの作成。2,000部程度(最終更新:2019年1月) 日本語版をベースに繁体字に翻訳を予定。	主に、旅行博やJNTO海外事務所の発送がメインだが、JNTO事務所から直接依頼が伊勢志摩地域のパンフレットの送付依頼もある。その他、地域外の観光案内所や宿泊施設などからの送付依頼を頂戴した。

② プロモーション

	事業項目	事業概要	実績・効果
ア	4市町トップセールス	香港から三重県・伊勢志摩への商品造成、送客促進のため、4市町首長による香港現地プロモーション ・領事館、JNTOなど関係機関の表敬訪問と意見交換 ・現地旅行会社の表敬訪問と伊勢志摩のPR ・現地旅行博視察(伊勢志摩地域へのツアー販売状況の調査)	領事館へ訪問し、香港からの訪日旅行の現状を確認し、今後のプロモーションについて意見を頂戴した。 香港内で最も訪日旅行を取扱うEGL Toursの周年記念イベント、意見交換会に出席し、袁社長はじめ、代表者へ伊勢志摩送客について意見を頂戴した。 現地旅行博を視察し、香港内の伊勢志摩の認知度や商品造成状況を確認したが、当日は三重、伊勢志摩の商品を確認できなかったが、香港市場へのPRの重要性を理解することができた。  
イ	大阪・関西万博(令和7年)をフックにした誘客の取組	a. 関西観光本部や三重県、近隣県と連携し、参加表明済みの国の現地AGTセールス b. 関西観光本部や三重県、近隣県と連携し、参加表明済みの国からのファミトリップの招請 c. 式年遷宮と絡めた情報発信(JNTOのサービスなどを活用) d. 地域のSDGsの取組みと絡めた情報発信(JNTOのサービスなどを活用) e. 下記事業においても関西万博を絡め、伊勢志摩のプロモーションを実施	下記のとおり
ウ	大都市圏PR事業 (大阪 or 東京)	【東京または、大阪の場合】 令和4年度に開催した東京ランドオペレーターと伊勢志摩地域の商談会と同様、インバウンドツアーの取扱いのある国内旅行会社を招請する。大阪または、東京で商談会を開催し、地域事業者と国内旅行会社との関係構築、ツアー受注の場を提供する。 【令和4年度実績】※令和5年度は未開催 1. 招請旅行会社数:20社 2. 地域事業者参加者数:19社 3. 1社あたりの商談数:13セッション 4. 1セッション商談時間:15分	多種多様なランドオペレーターを招請し、地域事業者との関係構築を促進することができた。 参加前から送客実績のあるランドオペレーターもあるが、新しい施設との関係を構築することができ、双方から今後も定期的な商談会の開催を頂戴した。
エ	商談会出展、 海外・国内セールス	【出展商談会候補】 a. Visit Japan Travel Mart(VJTM) ※出展確定した場合は、インバウンドネットワーク参画事業者に参加してもらう予定。 (案:出展料は伊勢志摩観光コンベンション機構が負担、IDは各事業者で負担) b. VJTM-ASEAN・INDIA-(開催される場合) c. ILTM Cannes d. ILTM Asia Pacific e. その他オンライン商談会 f. 三遠南信・伊勢志摩広域連携協議会「商談会」(事務局) g. その他各市町、地域事業者が実施するインバウンド誘客に係るイベントの協力 例)アジア圏旅行博・イベントのブース出展など 【セールス】 ・欧米豪を中心に現地セールスを実施。東南アジア、東アジア圏についても現地セールスは実施。 ・令和5年度のフランスPR事業で鳥羽市、伊勢志摩観光コンベンション機構が訪問した旅行会社へ継続的なセールスを実施。 ・適時、国内の旅行会社へのセールスを実施。	過去に出展経験のない市場(アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド)の商談会にも参加し、新しい市場が伊勢志摩地域への興味を持ってもらうことができるか調査も実施。 昨年までに他の国の商談会でそれぞれ、商談しているが、それぞれの国で共通しているのは、顧客に提案する新しい日本国内の滞在先を探しており、伊勢志摩のコンテンツは興味を持っていた。ファミトリップにも興味があり、今年度招請できなかった旅行会社は、来年度以降招請をできるよう、継続したPRを行う。 【令和6年度商談実績合計】 商談数旅行会社数:729社 (伊勢志摩インバウンド商談会含む) ファミトリップ受注数:24社 商品造成社数:65社(予定含む) その他PR:5件
オ	ファミトリップ	・当機構単独で実施するファミトリップは例年通り受入れを行う。 (国内ランドオペレーター、海外旅行会社、メディア等々) ・各市町観光協会、三重県と連携したファミトリップの実施。 【令和5年度招請実績】 1. ファミトリップ実施数:33回(予定含む R06/1月時点の見込み数) 海外旅行会社:29社 / 国内旅行会社:6社 / 取材対応等:20社 ※実施数と参加者数の誤差について 1回のファミトリップに旅行会社やインフルエンサーなど複数社が参加した事例があるため。	【令和6年度ファミトリップ受入れ実績合計】 ファミトリップ受入れ会社数:170社程度 当機構主催ファミトリップの他、三重県庁や関係事業者主催ファミトリップの支援、国内ランドオペレーター紹介海外旅行会社の受入等々。
カ	近畿東中央部FIT促進事業 (旧VJ事業)	・三重県、近畿日本鉄道と連携し、東南アジア、欧州からの誘客を強化する。 【令和5年度実績】 ターゲット国:タイ、フランス 1. タイ市場 ・FITフェア(現地旅行博)出展 ・現地メディア招請 2. フランス ・SMT Paris(現地旅行博)出展	【タイ】 11月FITフェア出展 旅行博ブース来訪者数:1,500人以上 FITを取り扱う現地旅行会社セールスを実施 訪問社数:4社 / 商品造成:3社 【フランス】 令和6年3月セボン・ル・ジャポン出展 旅行博ブース来訪者数:350人以上 FITを取り扱う現地旅行会社セールスを実施 訪問社数:4社 / ファミトリップ受注:2社 / 商品造成:3社

キ	EXCITING KANSAI (旧称: プラスワントリップキャン ペーン)	・関西観光本部と連携し、広域周遊に向けた滞在圏形成のための 取組を実施する。	EXCITING KANSAI ホームページの改修、地域コンテンツの充 実。   【公式 HP】 【デジタルパンフレット】
ク	SDGsに係る情報発信	上記各プロモーション事業において、伊勢志摩地域内の伝統的な SDGsの取組みや新しい取組みを発信していく。	上記、商談会やセールス時に地域のSDGsの取組に興味のある旅 行会社へPR。 国内PRせんだう旅博事業も意識し、式年遷宮をベースに地域の SDGsの取組もPR。

③ 伊勢志摩国立公園に関する取組

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 環境省国立公園オフィシャル パートナーシップ	・環境省と連携した取組(VJTM出展など) ・伊勢志摩国立公園エコソサリズム推進協議会と連携した取組	令和6年度伊勢志摩国立公園地域協議会にて「伊勢志摩国立公園 ビジョン」の検討・作成に携わり、国立公園の方向性を共有した。

④ 高付加価値なインバウンド観光地づくり【I-課題解決に向けた重点項目-(2)に掲載】

⑤ 高付加価値なインバウンドへのプロモーション【I-課題解決に向けた重点項目-(2)に掲載】

⑥ マーケティング

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 外国人観光客に係るデータの把握	令和元年度から継続している当機構会員宿泊施設から提供され る「外国人宿泊施設データ」、「JNTO訪日外客数推計値」をもとに 地域内、国内の傾向を把握する。そして、渡航規制の緩和後にど の市場からの回復が早いかなど、インバウンド事業の効果的かつ 効率的な実施に努める。 ・伊勢志摩地域外国人宿泊者データ集計(月1回) ・JNTO訪日外客数推計値集計(年2回)	当機構会員宿泊施設31社に依頼。内、外国人宿泊者が確認されて いる18社がデータを提供 【令和6年度の傾向(伊勢志摩)】 13カ国が2023年度比の数値を上回った。来訪者数上位5カ国は 下記のとおり。 台湾、中国、米国、香港、シンガポール 全体数値では、2019年比でも140.1%と伊勢志摩地域のインバウ ンドはコロナ前の数値を超えた。 FITの割合は昨年以上に増加。19カ国の市場が昨年以上の来訪者 を記録。一方でグループツアーの割合は減少しているが、英国、スベ インなどこれまで実績の少なかった国からの団体旅行が増加。タイ や台湾などの重要市場のグループの集客が低下しているのは、再 度集客に取組む必要がある。 各国にFIT化が進んでいるが、グループツアーの需要の高い国もあ り、地域の宿泊施設の大きさを鑑みた場合、FIT、グループツアー共 に誘致していくことが必要。 ※当機構会員施設様から提供可能な範囲のデータから集計してい るため、実数値と異なります。 【2023年度の傾向(日本)】 ※JNTO訪日旅行者数推計値から 合計値では、2023年比134.8%。全ての国が2023年以上の訪 日旅行者数を記録。 来訪人数上位5カ国は、韓国、中国、台湾、米国、香港の順。 増加率上位5カ国は、中国、ロシア、スペイン、イタリア、メキシコ の順。 【伊勢志摩地域と日本全体の対比】 伊勢志摩地域の傾向と日本全体の傾向を比較した場合、東アジアの シェアが最も大きいことは変わらないが、昨年同様、欧米豪の割合 が全国よりも伊勢志摩地域は、高い。東南アジアは、昨年と傾向が 変わり、ほぼ全国と同じ割合。東アジアは全国よりも10%弱低い。 これは韓国からの来訪が少ないことが影響していることが想定さ れる。 国別に見ると、伊勢志摩地域・日本全体の共通事項してマーケット が大きく拡大しているのは、中国、スペインとイタリア。伊勢志摩地 域は、その他インドネシア、英国も増加率が高い。基本的には、ど この市場も成長している。 伊勢志摩地域は、タイやマレーシアなど東南アジア市場の減少が気 になる。とくにタイは三重県、伊勢志摩地域としても重要市場の一 つのため、今後の誘客促進のため、テコ入れが必要。欧州ではドイツ からの来訪が減少している。

【基本戦略3】来訪機会の創出

① MICEの誘致

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 助成制度の継続、県内・隣県・関西・首都圏方面への営業活動	・学会事務局、各種団体等へのセールス ・大都市圏のMICE誘致会社や開催見込団体へのセールス ・伊勢志摩リゾートMICE推進協議会と情報を共有し連携した誘致活動を実施する ・中部、近畿等、近隣のMICE誘致団体との情報交換	今年度のMICE開催7件(うち支援申請件数は6件) ○学会関連関係先及び三重大学等への積極的な営業活動の実施(26件) ○MICE EXPO 2024/三重県海外誘客課との共同出展(43件) ○三重テラスで開催された三重県MICEセミナーへの参加し当エリアの施設紹介及び商談(33件) ○IME2025への出展及び商談(14件) ○中部コンベンション連絡協議会へ参加し情報交換 ○近畿コンベンション連絡会へ参加し情報交換 ○近畿日本ツーリスト中部観光産業推進協議会・商談会参加(8件) ○次年度以降開催予定の学会の会場下見同行及び打合せ(2件) ○令和7年度MICE開催14件(申請件数11件)

② フィルムコミッションの推進

事業項目	事業概要	実績・効果
ア ロケ地の問い合わせ対応など支援体制の充実	映画、TV、CM等の撮影に係る支援活動を積極的に行う。伊勢志摩地域の魅力を映像作品を通じて発信することにより、魅力の再発見や知名度の向上、イメージアップを図る。	・問合せ件数:134件 (参考)令和5年度実績 134件 ・問合せのあった映像作品等に対し、作品の内容を問わず積極的な支援を実施 撮影・掲載件数:48件 (参考)令和5年度実績 76件 ・第10回 賢島映画祭記念イベント「映画活動展示会」協力
イ 営業活動等による映像作品の誘致	・映画、TV、CM等の映像作品を積極的に誘致するために、影響力のある映像制作会社等へ営業活動を行う。 ・営業ツールとしてノベルティを作成 ・地域と制作者がマッチングする商談会	映画、TV、CM等の映像作品を積極的に誘致するために、影響力のある制作会社等へ営業活動を行った。 ・JFCが主催するロケ地フェア(展示会)に出展 ・JFCが主催する全国ロケ地マップフェアに出展 ・都内、名古屋地区、関西地区の制作会社やTV局にセールスを実施 ・国際映画祭商談会に参加 ・セールスツールとして「伊勢志摩FCロゴ入りエコバック」配布

③ クルーズ船の誘致

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会との連携	鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会と協力し、クルーズ客の地域内周遊につなげ、消費拡大やリピーター獲得を図る。また、鳥羽港が寄港地として選ばれるよう魅力と認知度の向上を図り、VJTMなどの商談会やクルーズ船社へのセールス活動に取り組む。	商談会に参加し誘致宣伝を行い、7隻の寄港実績があった。内、R6年4月5日、R7年3月24日にダイヤモンドプリンセスが寄港し、受入れ対応を行った。

④ 学生団体の誘致

誘致活動

事業項目	事業概要	実績・効果
ア セールス活動	来訪実績のある地域や新規に誘致できる見込みのある地域の旅行会社へ訪問し、情報収集を兼ねた誘致活動を行う。 ・東北 ・中部 ・関西 ・関東	・東北セールス(6月20、21日実施) →若手・秋田・宮城・山形の旅行会社20社 ・中部近隣県セールス(9月～10月実施) →滋賀・長野・山梨の旅行会社24社 ・関西セールス(2月～3月実施) →大阪・京都・兵庫の旅行会社44社 ・日台教育旅行関係者意見交換会(10月22日) ・三重県へ補助金等の要望書の提出(10月2日)
イ 現地招聘事業	伊勢志摩地域の魅力を効果的に伝えるため、旅行会社営業担当者や教育関係者を招聘し、現地視察を実施する。 ・大手旅行会社	・10月22日～26日台湾教育旅行地方視察 6名 ・11月20日近畿日本ツーリストの教育旅行担当者17名を招聘 ・3月3日～4日名鉄観光サービスの教育旅行担当者14名を招聘 それぞれの団体で体験施設及び宿泊施設の視察を実施 また、商談会・懇親会も開催し、視察で訪問できなかった施設の担当者にもPRの機会を創出。

情報発信

事業項目	事業概要	実績・効果
ア ホームページ改修	学誘委の施設情報(特に宿泊施設)を掲載するなど、掲載情報の充実を図る。	既存のホームページに記載されている記事から学誘に関する内容記事を選び、学誘のページからもリンクさせたことでより多くの地域の魅力を紹介
イ ガイドブック・パンフレット等の作成	学生団体旅行パンフレット「伊勢志摩においさないさあ」の掲載内容を見直し、増刷する。 令和4年度 約1,650部配布(在庫約1,350部) ⇒ 令和5年度 3,000部改訂増刷	学生団体旅行パンフレット「モデルコース」を2,500部改訂増刷 繁体字の修学旅行パンフレットを2,000部作成
ウ 受入実態調査	以下の調査を実施する。 ・宿泊施設を対象に県内・県外別来訪者数の調査 ・宿泊施設を対象に県別来訪者数の調査 ・学誘委委員を対象に受入実態及び学誘委事業への意見等についての調査	・宿泊・体験等施設を対象とした実績調査 ・宿泊施設を対象とした実績調査 ・学誘委委員を対象に学誘委事業への意見等についての調査(4月実施)

【基本戦略4】受入環境の整備

① 観光客の実態の把握及び満足度の向上

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 旅行者アンケートの実施	伊勢志摩地域への来訪者に係るデータを収集し、来訪者の傾向を把握・分析した上で、伊勢志摩地域に訪れる観光客に対して、効果的な取組の検証や来年度以降の施策立案に活用する。	・伊勢志摩旅行者アンケート(デジタル)を通年通して実施した。令和5年度より用紙でのアンケートからWEB上でのデジタルアンケートに移行し、令和6年度は2,440名がアンケートに回答した。 ・公共交通を活用した伊勢志摩「伊勢志摩デジタルスタンプラリー」において、参加登録時に簡易的なアンケート(出身地・性別・年齢・メールアドレス)を実施した。 ・ツーリズムEXPOジャパン2024において、来場者に簡易的なアンケートを実施した。

② 観光産業と観光文化の振興及び人材の育成

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 人材育成及び地域住民の意識啓発	インバウンドの受入環境整備の支援や、遷宮を契機とした地域住民の伊勢志摩への誇りや愛着、おもてなしの心を醸成する。	○伊勢志摩インバウンドシンポジウム 2024 9月4日 参加者:約180名 内容: インバウンドマーケットを熟知するプロフェッショナルたちによるパネルディスカッションと、香港の大手旅行会社 EGL Tours の袁社長によるセミナーを実施した。 ○受入れのコツセミナー(OTA) 2月18日 参加者:20名 内容: ・インバウンドの最新の傾向(国、年代、動機など)と利用促進に向けた対策 ・受入環境整備のポイント ・OTAを利用することのメリット、デメリット

③ デジタル化の推進 【1-課題解決に向けた重点項目-(3)に掲載】

④ 安全・安心な観光地づくり

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 災害対応等	避難場所への経路検索など観光客の利便性を確保するため、デジタルマップを活用して避難情報等を案内する。	今年度の目標であった伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町・明和町の避難場所の登録を完遂し、避難場所への経路検索など観光客の利便性を確保することができた。

【基本戦略5】推進体制の強化

① 起業・団体・個人とのマッチング機会の創出等

事業項目	事業概要	実績・効果
ア 収入確保の取組(ホームページへの有料記事掲載)(マーケティングデータの活用)	リニューアルした公式HPに観光施設等の特集記事を増加し、観光客のアクセス数の増加を図り、その傾向を分析し、新たな特集記事の発信を継続的に実施していく。 ○有料の特集記事の作成 ○体験施設の体験レポートの作成(じゃらん遊び体験のAPIとの連動) マーケティングデータの活用	・有料の特集記事 掲載実績: 3件

② 事務局体制の強化等

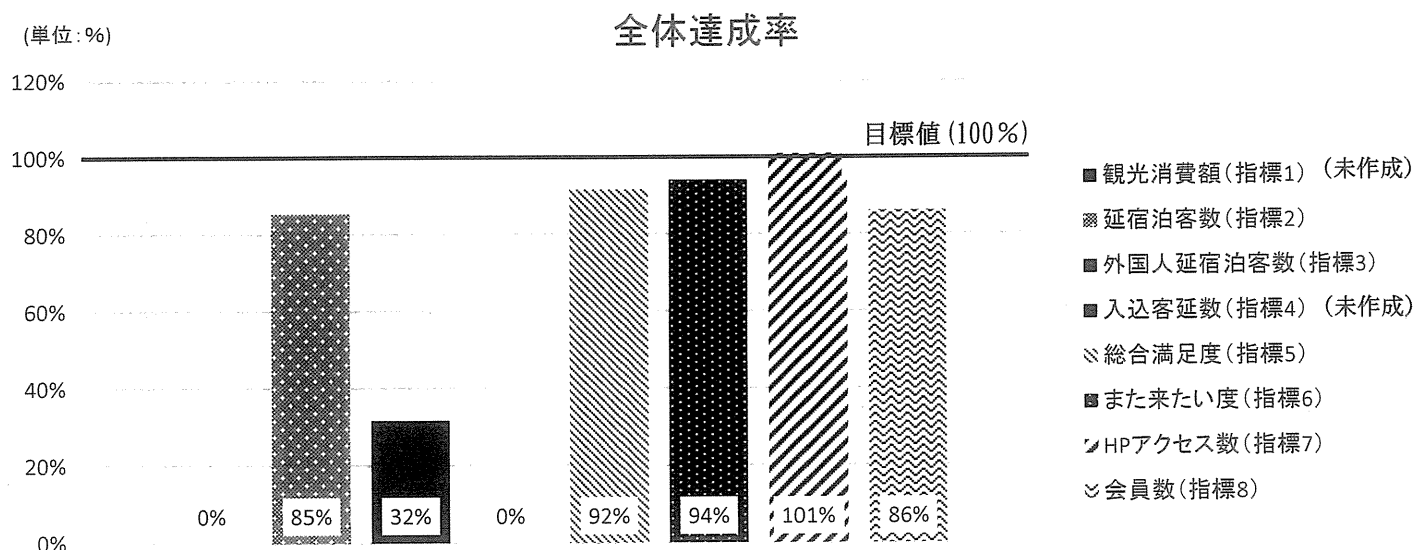
事業項目	事業概要	実績・効果
ア 事務局体制	伊勢志摩地域の広域観光を十分に担うため、行政、関係団体、事業者等と連携し、伊勢志摩地域の観光振興を推進する事務局体制を構築する。 地域連携DMOとして地域経済の活性化に向け重要な役割を担う。 ○事務局職員(専務理事を含む) 14名体制	・職員及び会員向けに生成AIを活用するための初級講座を実施(実施日:3/14、参加者:職員14名、会員50名 ⇒ 合計64名) ・高付加価値インバウンド観光地づくりに必要な専門人材について、三重県の補助金を活用し民間企業から社員1名の出向体制を整備 ・新たな事業を実施する場合、人件費増額にかかる部分を各市町の事業負担金に含めて按分 ・自主財源確保に向けた収益事業の取組みを検討
イ 会員の拡大	会員になることのインセンティブの充実を図り、情報を発信する。伊勢志摩地域のスケールメリットを活かし、官民が一体となって観光振興事業の展開及び推進を図り、新規会員の確保に積極的に取り組む。	【新規会員(名誉会員を含む)】 16事業者(令和6年4月～令和7年3月) 【退会会員】 20事業者(令和6年4月～令和7年3月) 【名誉会員(新規)】 山際 洋(令和6年12月26日入会)
ウ 会員への情報提供	様々な関係者と連携した取組を進めるため、地域とのつながりの強化やコミュニケーションを図る。また、会員向けの情報を提供する機会や情報交換の機会を作る。 ○会員の新たな事業・取組などの情報発信(観光客や事業者向け)	・職員向け「生成AIを活用するための初級講座」について、会員メリットを考慮し、広く会員向けにも周知のうえ、実施(実施日:3/14、参加者:職員14名、会員50名 ⇒ 合計64名) ・Facebook投稿数 42件 Instagram投稿数 210件 ・総会後、会員全体による意見交換会の実施

伊勢志摩観光振興プラン 令和6年度検証 (データ収集中)

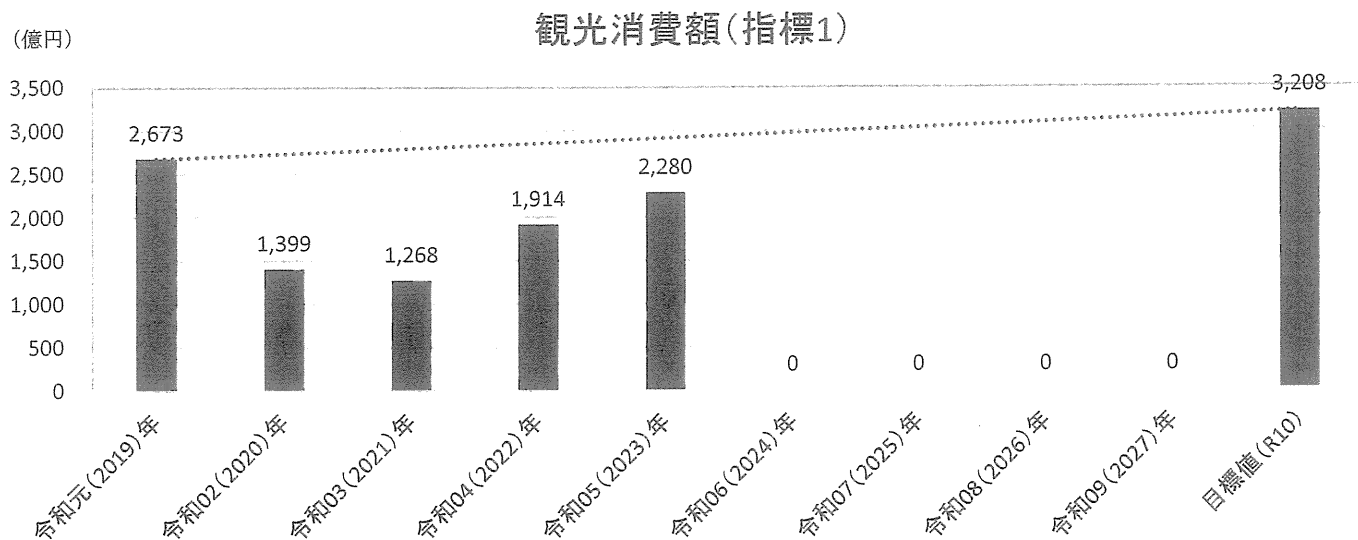
当機構では、令和6年度から令和10年度までの5か年間の観光振興に関する方向性や戦略を示す「伊勢志摩観光振興プラン」を策定し、入込客数や宿泊客数、観光消費額の増加など、数値目標を定めて、“観光立圏”伊勢志摩経済圏の活性化を目指した取組を行っています。進行管理として毎年度数値目標の達成度合いを検証することとしており、令和6年度の検証結果は以下の通りです。

■ 8つの項目における数値目標の検証

【全体達成度】

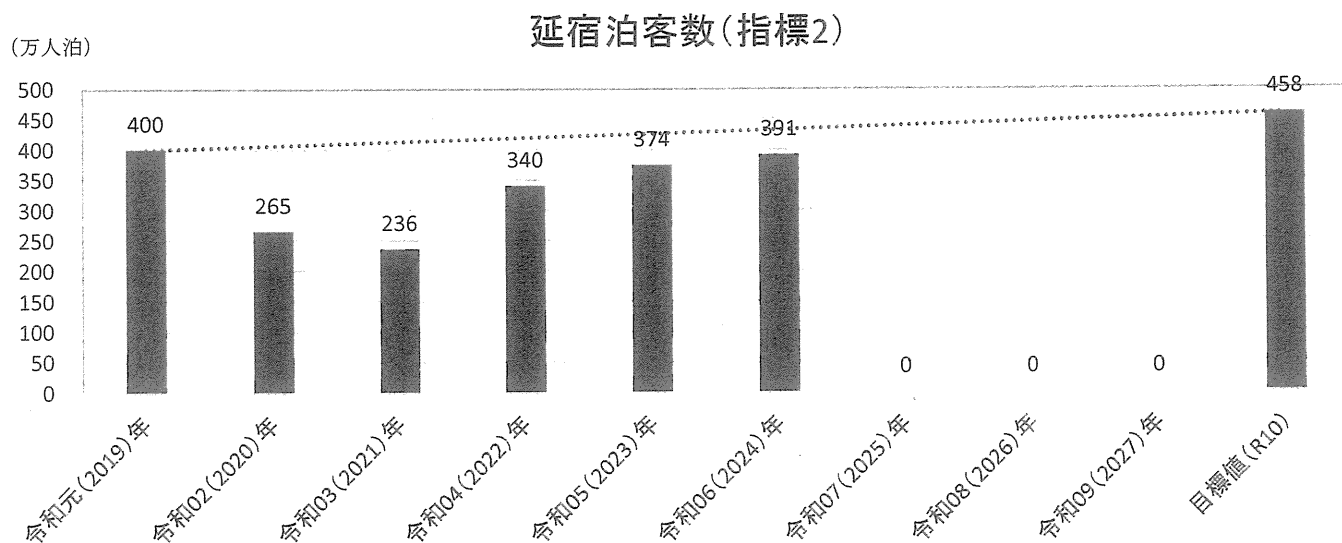


◆観光消費額（指標1） 【 】



指標の基礎資料である三重県観光レクリエーション入込客数推計書及び観光客実態調査報告書
未公表のため未作成

◆延宿泊客数（指標2） 【未達】



●目標値である 458 万人泊を 67 万人泊下回った。

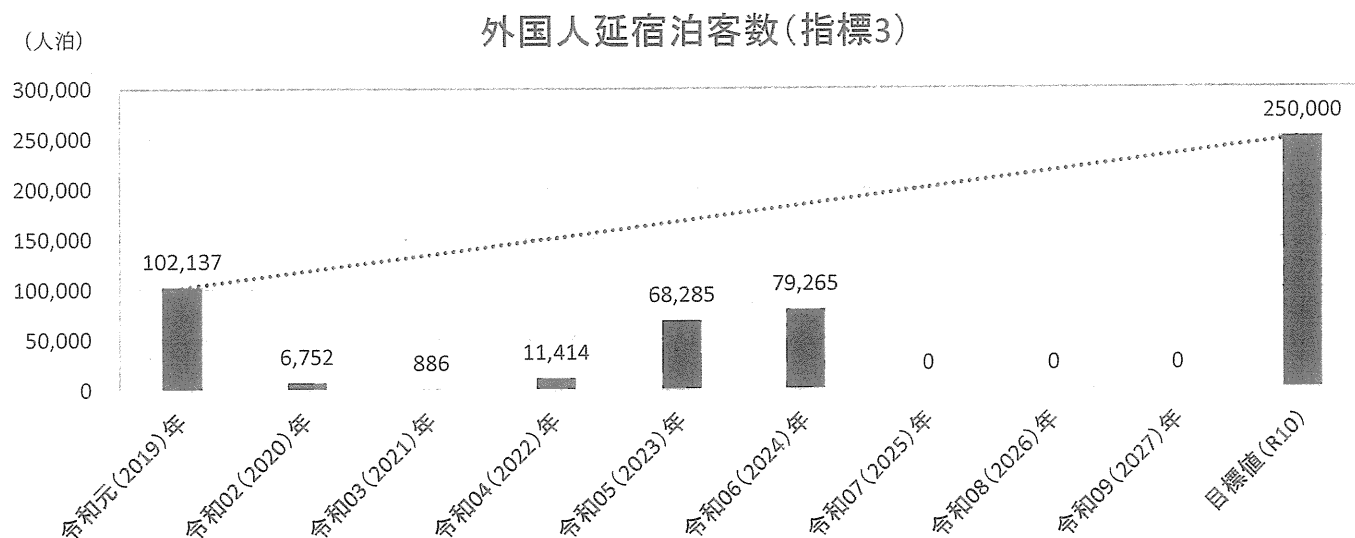
●昨年より 17 万人増加した。(4.5%増)

2019 年度（コロナ前）比で 97.8%となり、コロナ前とほぼ同水準まで回復した。

また、全国で前年比 105.3%、伊勢志摩地域で前年比 104.5%となり、延宿泊客数は昨年に続き回復傾向が見

られ、回復率は全国値と概ね一致している。

◆外国人延宿泊客数（指標3） 【未達】

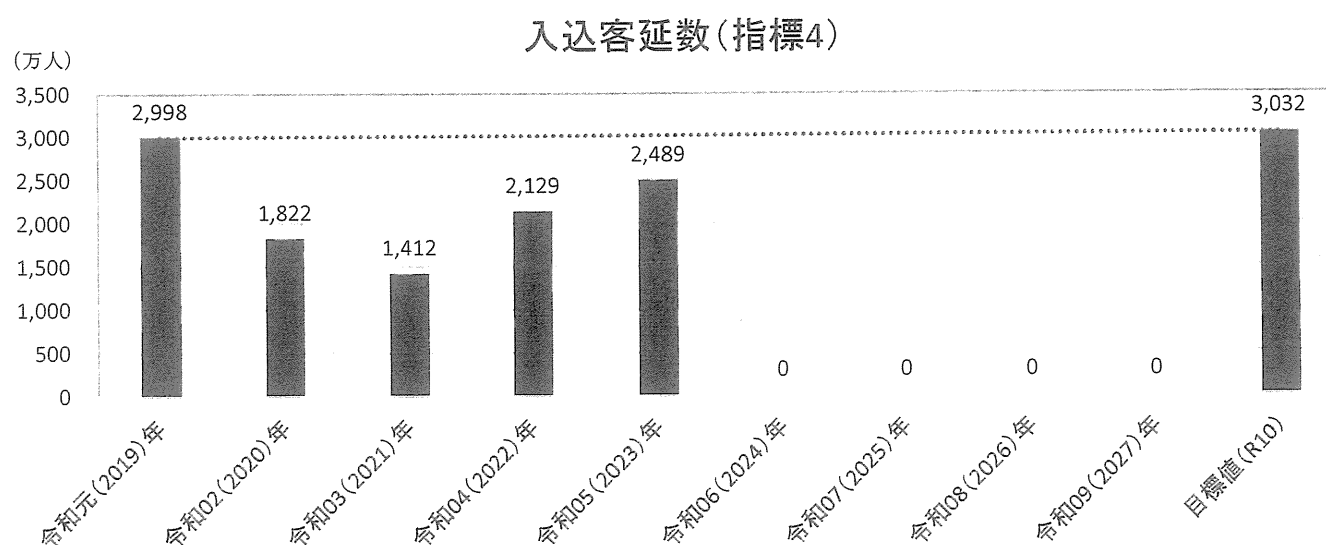


●目標値である 250,000 人泊を 170,735 人泊下回った。

●昨年より 10,980 人泊増加した。(16.1%増)

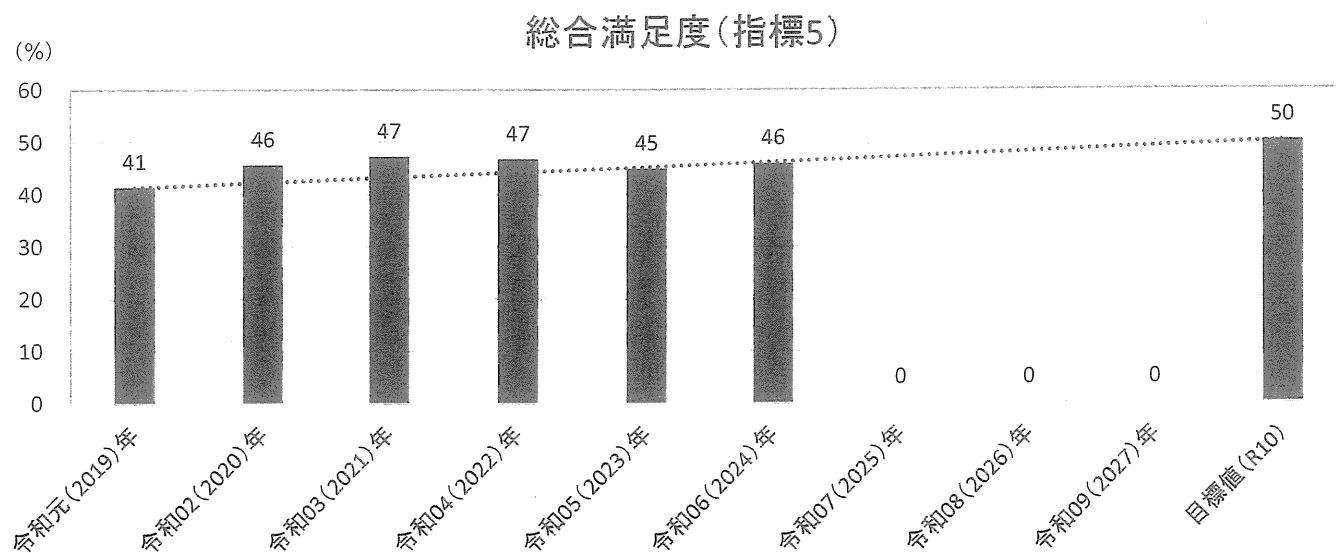
前年度に続き回復傾向が見られるものの、全国値では前年比 138.9%、伊勢志摩地域では前年度比 116.1%と、全国平均と比較して増加が大きく伸び悩んでおり、コロナ禍以前（令和元年度）の数値にも依然大きく開きがあるなど、厳しい結果となった。

◆入込客延数（指標4） 【 】



指標の基礎資料である三重県観光レクリエーション入込客数推計書及び観光客実態調査報告書
未公表のため未作成

◆総合満足度（指標5） 【未達】



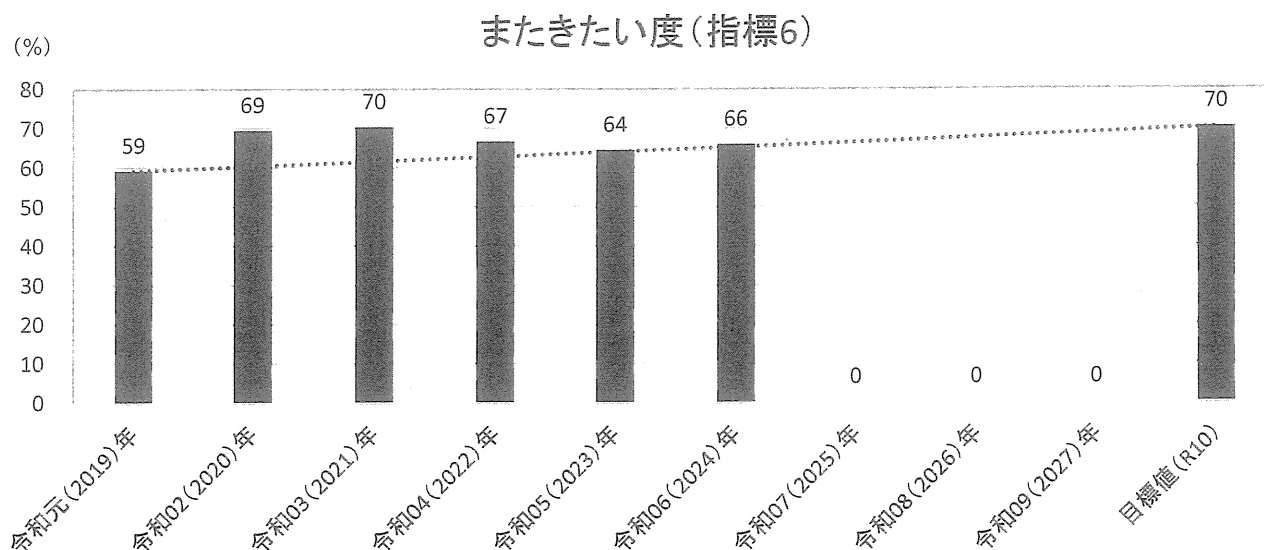
●目標値である50%を4ポイント下回った。

●昨年より1ポイント増加した。

当機構が毎年度実施する旅行者アンケートにおいて満足度を調査している。総合満足度については、項目として、「また来たい度」「景色」「店員の対応」「温泉」「食事」「案内表示」「宿泊施設」「お土産」「交通利便性」「料金」の10項目全ての最高評価5の割合を示している。令和5年度は、昨年度と比較し1ポイント増加したものの、目標値には届かなかった。

「景色」「また来たい度」については、最高評価5の割合が高く、「交通利便性」や「料金」といった項目が低くなっている。

◆また来たい度（指標6） 【未達】

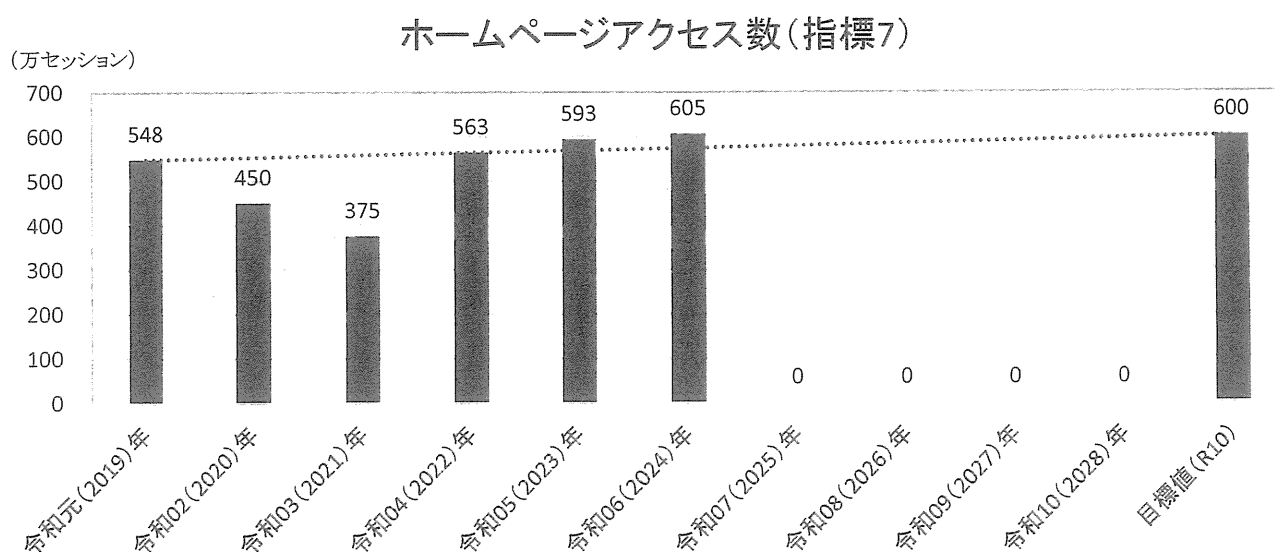


●目標数値である70%を4ポイント下回った。

●昨年より2ポイント増加した。

総合満足度とともにまた来たい度も増加したものの、目標値には届かなかった。継続して伊勢志摩地域への来訪意欲を高めるために、SNS等で効果的な情報発信を行い旅行先として選ばれるよう取り組むと共に、伊勢志摩地域を訪れた旅行者に魅力を感じてもらえるような施策を実施していく必要がある。

◆ホームページアクセス数（指標7） 【未達】



●目標数値である600万PVを5万セッション上回った。

●昨年より10万PV増加した。

昨年度比 102.0%と3年連続で増加した。

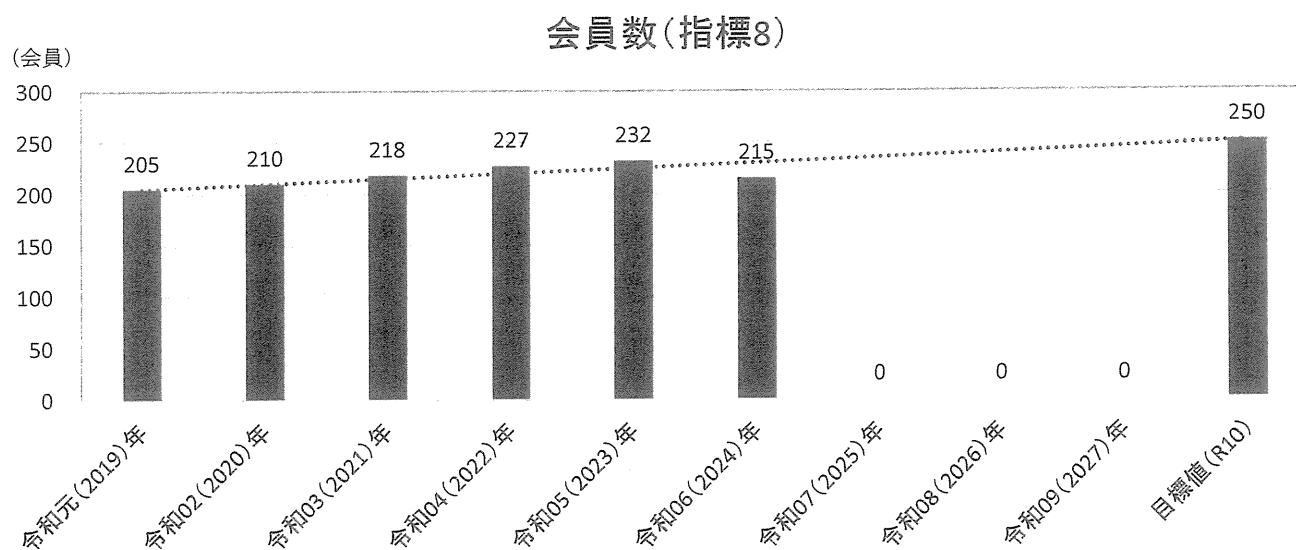
アクセス数も年々伸びているため、引き続き閲覧者の満足度を得られる工夫が必要である。

アクセス数が高いページ分析を行い、PV数の多いスポットページの特集記事化や、現存するページの写真や内容等の情報更新を図り、新鮮な情報を提供する。

また、多言語版のPV数は

①英語：前年比 40%増、②繁体字：前年比 50%増、③フランス語：前年比 50%増、④韓国語：前年比 20%増と全言語で増加したが、依然として周知方法が少ないという課題があるため、引き続きメディアなどに Visit Iseshima を周知してもらえよう働きかけていく必要がある。

◆会員数（指標8） 【未達】



●目標値である 250 会員を 35 会員下回った。

●昨年より 17 会員減少した。

※令和7年3月31日時点の数字になります。4月1日以降、新たに6会員増加しています。

当機構が事業を実施していくうえでパートナーとなる事業者を拡大していくことは重要である。会員になることのインセンティブを充実させ、当機構が会員組織であることを再認識したうえで、目標値を達成するために事業者にとって、プラスとなることを継続して提示していくことが必要である。

令和6年度 収支決算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,162,525	51,643,908	△ 21,481,383
未収金	12,635,330	18,940,868	△ 6,305,538
流動資産合計	42,797,855	70,584,776	△ 27,786,921
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
建物	537,990	633,111	△ 95,121
什器備品	1	38,805	△ 38,804
構築物	56,175	62,478	△ 6,303
その他固定資産合計	594,166	734,394	△ 140,228
固定資産合計	594,166	734,394	△ 140,228
資産合計	43,392,021	71,319,170	△ 27,927,149
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,224,177	20,428,683	△ 14,204,506
預り金	0	5,725,315	△ 5,725,315
流動負債合計	6,224,177	26,153,998	△ 19,929,821
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,224,177	26,153,998	△ 19,929,821
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	37,167,844	45,165,172	△ 7,997,328
正味財産合計	37,167,844	45,165,172	△ 7,997,328
負債及び正味財産合計	43,392,021	71,319,170	△ 27,927,149

貸借対照表内訳表
令和 7年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						合計
	一般会計	観光圏	特別会計				
			伊勢志摩学生 団体誘致委員会	伊勢志摩 せんぐう旅博事業	高付加価値インバ ウンド協議会事業	伊勢志摩観光 MaaS事業	
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	13,857,331	0	3,455,831	5,075,000	466,238	7,308,125	30,162,525
未収金	2,635,330	0	0	0	10,000,000	0	12,635,330
流動資産合計	16,492,661	0	3,455,831	5,075,000	10,466,238	7,308,125	42,797,855
2. 固定資産							
(1)基本財産							
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0
(2)特定資産							
特定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
(3)その他固定資産							
建物	0	537,990	0	0	0	0	537,990
什器備品	0	1	0	0	0	0	1
構築物	0	56,175	0	0	0	0	56,175
その他固定資産合計	0	594,166	0	0	0	0	594,166
固定資産合計	0	594,166	0	0	0	0	594,166
資産合計	16,492,661	594,166	3,455,831	5,075,000	10,466,238	7,308,125	43,392,021
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払金	2,651,656	0	6,141	225,995	2,710	3,337,675	6,224,177
流動負債合計	2,651,656	0	6,141	225,995	2,710	3,337,675	6,224,177
2. 固定負債							
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	2,651,656	0	6,141	225,995	2,710	3,337,675	6,224,177
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
2. 一般正味財産	13,841,005	594,166	3,449,690	4,849,005	10,463,528	3,970,450	37,167,844
正味財産合計	13,841,005	594,166	3,449,690	4,849,005	10,463,528	3,970,450	37,167,844
負債及び正味財産合計	16,492,661	594,166	3,455,831	5,075,000	10,466,238	7,308,125	43,392,021

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	938,370	
		＜普通預金＞			
		百五銀行二見浦支店	一般会計運転資金として	8,884,317	
		百五銀行二見浦支店	せんぐう旅博事業運転資金として	4,793,405	
		百五銀行二見浦支店	学生誘致委員会会計運転資金として	3,274,619	
		百五銀行二見浦支店	高付加価値インハウント'事業運転資金として	450,619	
		百五銀行二見浦支店	伊勢志摩MaaS事業運転資金として	7,129,699	
		三十三銀行鳥羽支店	一般会計運転資金として	2,398,740	
		桑名三重信用金庫鳥羽支店	一般会計運転資金として	1,883,740	
		＜定期預金＞			
		百五銀行二見浦支店	退職金運転資金として	409,016	
			＜現金・預金計＞	30,162,525	
	未収金	イオンリテール(株)	伊勢志摩WAONカード利用に係る寄附金	1,710,773	
		マックスバリュ東海(株)	伊勢志摩WAONカード利用に係る寄附金	904,581	
		(株)リクルート	「伊勢志摩観光ナビ」遊び・体験予約利用料	6,393	
		(株)ピアトゥー	「伊勢志摩観光ナビ」宿泊予約サイト成果報酬	2,193	
		(株)志摩スペイン村	伊勢志摩レポーター取材費用	11,390	
			【一般会計】未収金合計	2,635,330	
		伊勢志摩高付加価値インハウント'観光地づくり推進協議会	広域連携インハウント'推進協議会等負担金	10,000,000	
			【高付加価値インハウント'事業】未収金合計	10,000,000	
			＜未収金計＞	12,635,330	
		流動資産合計			42,797,855
(固定資産)	基本財産			0	
				0	
	特定の固定資産	建物	鳥羽市相差町・相差かまどおぜこさんパイオトイレ	公益目的保有財産	537,990
				＜建物計＞	537,990
	その他の固定資産	什器備品	鳥羽市内・陶板サイン	公益目的保有財産	1
				＜什器備品計＞	1
	構築物	鳥羽市相差町・スロープ	公益目的保有財産	56,175	
			＜構築物計＞	56,175	
＜その他の固定資産計＞			594,166		
固定資産合計			594,166		
資産合計			43,392,021		

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動負債)	未払金	(株)トラベルジップ	2024年度 ホームページ保守管理・運用支援業務	1,685,200	
		(株)松阪電子計算センター	GoogleWorkspacebusinessStandard保守料	16,500	
		大川敦子	HP伊勢志摩レポーターへの諸謝金	10,000	
		千巻印刷産業(株)	【インバウンド】繁体字パンフレット作成業務	466,400	
		(株)リクルート	おでかけウォッチャー経費	55,000	
		(株)ラクーンフィナンシャル	LINE公式アカウント利用料 3月分	16,500	
		厚生労働省年金局	社会保険料 3月分事業主負担	185,130	
		UQコミュニケーションズ	UQ携帯 3月分	3,699	
		NTTファイナンス	電話代 3月分	20,704	
		百五銀行	振込手数料他 3月分	11,000	
		ヤマト運輸(株)	荷送料 3月分	11,382	
		日本郵便(株)	後納郵便料 3月分	17,027	
		(有)イーグル	シエンタリース料 3月分	45,100	
		(有)イーグル	N-BOXリース料 3月分	31,570	
		(有)イーグル	プロボックスリース料 3月分	33,000	
		(株)ビジョン	グローバルWIFIルーター等レンタル 3月分	2,167	
		(株)エスパ	MICE開催支援看板代(玉城バドミントン大会)	17,600	
		三重交通商事(株)	公用車ガソリン代 3月分	23,677	
			【一般会計】未払金合計	2,651,656	
		百五銀行	【高付加価値インバウンド】振込手数料 3月分	1,100	
		日本郵便(株)	【高付加価値インバウンド】後納郵便料金 3月分	1,610	
			【高付加価値インバウンド事業】未払金合計	2,710	
		百五銀行	【学誘委】振込手数料他 3月分	4,070	
		ヤマト運輸株式会社	【学誘委】荷送料 3月分	1,430	
		日本郵便(株)	【学誘委】後納郵便料金 3月分	641	
			【学生団体誘致委員会事業】未払金合計	6,141	
		近鉄グループホールディングス	【MaaS】「ぶらりすと」における共同利用サービスに関わる委託料	3,331,625	
		ボールドライト株式会社	【MaaS】伊勢志摩向けデジタル観光マップ構築及びデジタルクーポンシステム構築プロジェクト費用 3月分	5,500	
		百五銀行	【MaaS】振込手数料他 3月分	550	
			【MaaS事業】未払金合計	3,337,675	
		ライオントラベル	【せんぐう旅博】支払助成金	150,000	
		百五銀行	【せんぐう旅博】振込手数料他 3月分	2,420	
		ヤマト運輸株式会社	【せんぐう旅博】荷送料 3月分	10,192	
		日本郵便(株)	【せんぐう旅博】後納郵便料金 3月分	2,119	
		富士フイルムビジネスソリューションジャパン(株)	【せんぐう旅博】コピー使用料 3月分	61,264	
			【せんぐう旅博事業】未払金合計	225,995	
			<未払金計>	6,224,177	
		流動負債合計			6,224,177
		(固定負債)			0
		固定負債合計			0
		負債合計			6,224,177
		正味財産			37,167,844

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- ①固定資産の減価償却の方法 建物、什器備品、構築物…定額法によっている。
- ②消費税の会計処理 税込経理方式によっている。

2、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

①地域観光圏整備事業特別会計に係る固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,067,852	2,029,862	537,990
什器備品	3,372,075	3,372,074	1
構 築 物	6,076,923	6,020,748	56,175
合 計	11,516,850	11,422,684	594,166

※平成20年10月1日に鳥羽商工会議所と締結した「使用貸借契約書」第7条より、
令和6年4月1日に自転車収納庫 1式(帳簿価格1円)、海女文化資料館アプローチ工事 1式(帳簿価格1円)、
市街地陶板サイン制作・設置 3式(帳簿価格1円) を無償譲渡した。

3、補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
広域連携インバウンド推進協議会等負担金(高付加価値インバウンド事業)	三重県	0	10,000,000	10,000,000	0
「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」に係る調査事業経費	株式会社 オリコム	0	6,669,060	6,669,060	0

附属明細書

1、基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2、引当金の明細

該当なし

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,740,000	3,700,000	40,000
事業収益			
正会員受取会費	3,740,000	3,700,000	40,000
事業収益	244,965	10,959,611	△ 10,714,646
受取国庫補助金	16,669,060	6,637,306	10,031,754
受取負担金	86,568,750	75,264,000	11,304,750
受取寄付金	5,261,463	5,604,149	△ 342,686
受取利息	27,828	131	27,697
雑収益	0	97,571	△ 97,571
事業収益計	112,512,066	102,262,768	10,249,298
受取負担金			
受取負担金	16,968,750	17,250,000	△ 281,250
雑収益			
受取利息	23,056	440	22,616
経常収益計	133,243,872	123,213,208	10,030,664
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	20,212,932	14,410,723	5,802,209
役員報酬	2,801,099	2,800,000	1,099
福利厚生費	2,050,866	1,941,976	108,890
旅費交通費	7,305,252	12,936,949	△ 5,631,697
通信運搬費	797,468	779,584	17,884
減価償却費	140,225	385,147	△ 244,922
会議費	5,969,002	2,972,122	2,996,880
消耗品費	3,140,095	2,333,814	806,281
印刷製本費	2,179,650	2,102,320	77,330
燃料費	242,828	259,187	△ 16,359
賃借料	2,027,182	1,677,712	349,470
保険料	193,095	181,951	11,144
諸謝金	545,500	1,283,620	△ 738,120
租税公課	40,400	0	40,400
支払負担金	1,812,000	1,730,000	82,000
支払助成金	1,331,000	800,000	531,000
支払寄付金	3	0	3
委託費	70,006,708	60,160,367	9,846,341
広告宣伝費	351,419	596,634	△ 245,215
渉外費	5,535,925	4,470,884	1,065,041
雑費	43,775	8,020	35,755
事業費計	126,726,424	111,831,010	14,895,414

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
役員報酬	2,801,099	2,800,000	1,099
給料手当	6,103,589	7,093,149	△ 989,560
福利厚生費	1,044,027	1,113,889	△ 69,862
会議費	249,260	38,683	210,577
旅費交通費	56,497	63,504	△ 7,007
通信運搬費	209,308	409,971	△ 200,663
消耗品費	319,734	462,964	△ 143,230
燃料費	104,070	96,864	7,206
賃借料	1,114,986	1,361,779	△ 246,793
保険料	82,755	77,979	4,776
諸謝金	1,067,000	1,012,000	55,000
租税公課	228,780	80,570	148,210
支払負担金	476,800	456,800	20,000
委託費	428,791	336,391	92,400
雑費	228,080	217,326	10,754
管理費計	14,514,776	15,621,869	△ 1,107,093
経常費用計	141,241,200	127,452,879	13,788,321
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,997,328	△ 4,239,671	△ 3,757,657
当期経常増減額	△ 7,997,328	△ 4,239,671	△ 3,757,657
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,997,328	△ 4,239,671	△ 3,757,657
当期一般正味財産増減額	△ 7,997,328	△ 4,239,671	△ 3,757,657
一般正味財産期首残高	45,165,172	49,404,843	△ 4,239,671
一般正味財産期末残高	37,167,844	45,165,172	△ 7,997,328
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	37,167,844	45,165,172	△ 7,997,328

正味財産増減計算書内訳表
令和 6 年 4 月 1 日 から令和 7 年 3 月 31 日 まで

科 目	公的目的事業会計						小計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	一般会計	伊勢志摩学生団体誘 致委員会事業	せんぐう旅博事業	高付加価値インバウンド協 議会事業	伊勢志摩観光 MaaS事業	地域観光圏整備事業				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	3,740,000	0	3,740,000
事業収益							0			
正会員受取会費	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000	0	0	3,740,000
事業収益	244,965	0	0	0	0	0	244,965	0	0	244,965
受取国庫補助金	0	0	0	16,669,060	0	0	16,669,060	0	0	16,669,060
受取負担金	33,368,750	3,480,000	27,720,000	0	22,000,000	0	86,568,750	0	0	86,568,750
受取寄付金	5,261,463	0	0	0	0	0	5,261,463	0	0	5,261,463
受取利息	0	3,354	10,934	996	12,544	0	27,828	0	0	27,828
事業収益計	42,615,178	3,483,354	27,730,934	16,670,056	22,012,544	0	112,512,066	0	0	112,512,066
受取負担金										
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	16,968,750	0	16,968,750
雑収益										
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	23,056	0	23,056
経常収益計	42,615,178	3,483,354	27,730,934	16,670,056	22,012,544	0	112,512,066	20,731,806	0	133,243,872
(2)経常費用										
事業費										
給料手当	14,227,131	0	0	5,985,801	0	0	20,212,932	0	0	20,212,932
役員報酬	2,801,099	0	0	0	0	0	2,801,099	0	0	2,801,099
福利厚生費	2,050,866	0	0	0	0	0	2,050,866	0	0	2,050,866
旅費交通費	3,038,050	1,180,758	461,435	2,546,309	78,700	0	7,305,252	0	0	7,305,252
通信運搬費	609,568	103,007	22,641	58,955	3,297	0	797,468	0	0	797,468
減価償却費	0	0	0	0	0	140,225	140,225	0	0	140,225
会議費	1,976,300	13,600	52,076	3,927,026	0	0	5,969,002	0	0	5,969,002
消耗品費	2,227,974	39,796	240,331	139,347	492,647	0	3,140,095	0	0	3,140,095
印刷製本費	1,603,800	575,850	0	0	0	0	2,179,650	0	0	2,179,650
燃料費	242,828	0	0	0	0	0	242,828	0	0	242,828
賃借料	1,996,060	0	2,652	28,470	0	0	2,027,182	0	0	2,027,182
保険料	193,095	0	0	0	0	0	193,095	0	0	193,095
諸謝金	273,500	0	0	272,000	0	0	545,500	0	0	545,500
租税公課	0	200	11,200	13,800	15,200	0	40,400	0	0	40,400
支払負担金	1,732,000	80,000	0	0	0	0	1,812,000	0	0	1,812,000
支払助成金	1,100,000	0	231,000	0	0	0	1,331,000	0	0	1,331,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3
委託費	10,492,920	0	27,190,223	10,375,120	21,948,445	0	70,006,708	0	0	70,006,708
広告宣伝費	351,419	0	0	0	0	0	351,419	0	0	351,419
渉外費	2,022,960	3,076,017	13,760	423,188	0	0	5,535,925	0	0	5,535,925
雑費	0	10,780	5,065	18,580	9,350	0	43,775	0	0	43,775
事業費計	46,939,570	5,080,008	28,230,383	23,788,596	22,547,639	140,228	126,726,424	0	0	126,726,424
管理費										
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	2,801,099	0	2,801,099
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	6,103,589	0	6,103,589
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	1,044,027	0	1,044,027
会議費	0	0	0	0	0	0	0	249,260	0	249,260
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	56,497	0	56,497
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	209,308	0	209,308
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	319,734	0	319,734
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	104,070	0	104,070
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	1,114,986	0	1,114,986
保険料	0	0	0	0	0	0	0	82,755	0	82,755
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	1,067,000	0	1,067,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	228,780	0	228,780
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	476,800	0	476,800
委託費	0	0	0	0	0	0	0	428,791	0	428,791
雑費	0	0	0	0	0	0	0	228,080	0	228,080
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	14,514,776	0	14,514,776
経常費用計	46,939,570	5,080,008	28,230,383	23,788,596	22,547,639	140,228	126,726,424	14,514,776	0	141,241,200
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,324,392	△ 1,596,654	△ 499,449	△ 7,118,540	△ 535,095	△ 140,228	△ 14,214,358	6,217,030	0	△ 7,997,328
当期経常増減額	△ 4,324,392	△ 1,596,654	△ 499,449	△ 7,118,540	△ 535,095	△ 140,228	△ 14,214,358	6,217,030	0	△ 7,997,328
2. 経常外増減の部										
(1)経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,324,392	△ 1,596,654	△ 499,449	△ 7,118,540	△ 535,095	△ 140,228	△ 14,214,358	6,217,030	0	△ 7,997,328
他会計振替額	△ 7,616,338	0	0	13,833,368	0	0	6,217,030	△ 6,217,030	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,940,730	△ 1,596,654	△ 499,449	6,714,828	△ 535,095	△ 140,228	△ 7,997,328	0	0	△ 7,997,328
当期一般正味財産増減額	△ 11,940,730	△ 1,596,654	△ 499,449	6,714,828	△ 535,095	△ 140,228	△ 7,997,328	0	0	△ 7,997,328
一般正味財産期首残高	25,781,735	5,046,344	5,348,454	3,748,700	4,505,545	734,394	45,165,172	0	0	45,165,172
一般正味財産期末残高	13,841,005	3,449,690	4,849,005	10,463,528	3,970,450	594,166	37,167,844	0	0	37,167,844
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,841,005	3,449,690	4,849,005	10,463,528	3,970,450	594,166	37,167,844	0	0	37,167,844

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(一般会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額			内部取引控除	差異 (決算-予算)
		一般会計	法人会計	計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費						
正会員受取会費	7,400,000	3,740,000	3,740,000	7,480,000	0	80,000
事業収益						
事業収益	200,000	244,965	0	244,965	0	44,965
受取補助金等						
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0
受取負担金						
受取負担金	50,337,500	33,368,750	16,968,750	50,337,500	0	0
受取寄付金						
受取寄付金	5,000,000	5,261,463	0	5,261,463	0	261,463
雑収益						
雑収益	0		0	0	0	0
受取利息	1,000		23,056	23,056	0	22,056
経常収益計	62,938,500	42,615,178	20,731,806	63,346,984	0	408,484
(2) 経常費用						
事業費						
役員報酬	2,801,099	2,801,099	0	2,801,099	0	0
給料手当	14,500,289	14,227,131	0	14,227,131	0	△ 273,158
福利厚生費	2,159,500	2,050,866	0	2,050,866	0	△ 108,634
会議費	2,601,000	1,976,300	0	1,976,300	0	△ 624,700
旅費交通費	4,059,000	3,038,050	0	3,038,050	0	△ 1,020,950
通信運搬費	985,700	609,568	0	609,568	0	△ 376,132
広告宣伝費	1,094,000	351,419	0	351,419	0	△ 742,581
渉外費	2,030,000	2,022,960	0	2,022,960	0	△ 7,040
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,542,179	2,227,974	0	2,227,974	0	△ 314,205
修繕費	35,000	0	0	0	0	△ 35,000
印刷製本費	3,139,000	1,603,800	0	1,603,800	0	△ 1,535,200
燃料費	336,000	242,828	0	242,828	0	△ 93,172
賃借料	2,060,100	1,996,060	0	1,996,060	0	△ 64,040
保険料	201,621	193,095	0	193,095	0	△ 8,526
諸謝金	910,000	273,500	0	273,500	0	△ 636,500
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	1,732,000	1,732,000	0	1,732,000	0	0
支払助成金	1,100,000	1,100,000	0	1,100,000	0	0
支払寄附金	0	0	0	0	0	0
委託費	12,934,200	10,492,920	0	10,492,920	0	△ 2,441,280
雑費	0	0	0	0	0	0
事業費計(a)	55,220,688	46,939,570	0	46,939,570	0	△ 8,281,118
管理費						
役員報酬	2,801,099	0	2,801,099	2,801,099	0	0
給料手当	6,103,612	0	6,103,589	6,103,589	0	△ 23
福利厚生費	1,044,500	0	1,044,027	1,044,027	0	△ 473
会議費	263,000	0	249,260	249,260	0	△ 13,740
旅費交通費	59,000	0	56,497	56,497	0	△ 2,503
通信運搬費	210,101	0	209,308	209,308	0	△ 793
消耗品費	320,791	0	319,734	319,734	0	△ 1,057
修繕費	5,950	0	0	0	0	△ 5,950
印刷製本費	0	0	0	0	0	0
燃料費	114,000	0	104,070	104,070	0	△ 9,930
賃借料	1,155,900	0	1,114,986	1,114,986	0	△ 40,914
保険料	86,409	0	82,755	82,755	0	△ 3,654
諸謝金	1,067,000	0	1,067,000	1,067,000	0	0
租税公課	290,000	0	228,780	228,780	0	△ 61,220
支払負担金	510,000	0	476,800	476,800	0	△ 33,200
委託費	438,850	0	428,791	428,791	0	△ 10,059
雑費	228,100	0	228,080	228,080	0	△ 20
管理費計(b)	14,698,312	0	14,514,776	14,514,776	0	△ 183,536
経常費用計(a)+(b)	69,919,000	46,939,570	14,514,776	61,454,346	0	△ 8,464,654
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,980,500	△ 4,324,392	6,217,030	1,892,638	0	8,873,138
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,980,500	△ 4,324,392	6,217,030	1,892,638	0	8,873,138
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 7,769,300	△ 7,616,338	△ 6,217,030	△ 13,833,368	0	△ 6,064,068
当期一般正味財産増減額	△ 14,749,800	△ 11,940,730	0	△ 11,940,730	0	2,809,070
一般正味財産期首残高	39,237,626	25,781,735	0	25,781,735	0	△ 13,455,891
一般正味財産期末残高	24,487,826	13,841,005	0	13,841,005	0	△ 10,646,821
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,487,826	13,841,005	0	13,841,005	0	△ 10,646,821

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(学生団体誘致委員会事業特別会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	内部取引控除	差異(決算-予算)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	0	0	0	0
事業収益				
事業収益	0	0	0	0
受取負担金				
受取負担金	3,450,000	3,480,000	0	30,000
受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益				
受取利息	1,000	3,354	0	2,354
経常収益計	3,451,000	3,483,354	0	32,354
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	70,000	13,600	0	△ 56,400
旅費交通費	1,220,000	1,180,758	0	△ 39,242
通信運搬費	200,000	103,007	0	△ 96,993
広告宣伝費	0	0	0	0
渉外費	3,170,000	3,076,017	0	△ 93,983
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	80,000	39,796	0	△ 40,204
修繕費	0	0	0	0
印刷製本費	575,850	575,850	0	0
燃料費	21,150	0	0	△ 21,150
賃借料	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	1,000	200	0	△ 800
支払負担金	80,000	80,000	0	0
支払助成金	0	0	0	0
支払寄附金	0	0	0	0
委託費	200,000	0	0	△ 200,000
雑費	20,000	10,780	0	△ 9,220
事業費計(a)	5,638,000	5,080,008	0	△ 557,992
管理費				
管理費計(b)	0	0	0	0
経常費用計(a)+(b)	5,638,000	5,080,008	0	△ 557,992
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,187,000	△ 1,596,654	0	590,346
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,187,000	△ 1,596,654	0	590,346
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,187,000	△ 1,596,654	0	590,346
一般正味財産期首残高	5,046,344	5,046,344	0	0
一般正味財産期末残高	2,859,344	3,449,690	0	590,346
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,859,344	3,449,690	0	590,346

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(せんぐう旅博事業特別会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	内部取引 控除	差異(決算-予算)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	0	0	0	0
事業収益				
事業収益	0	0	0	0
受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取負担金				
受取負担金	27,720,000	27,720,000	0	0
受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益				
受取利息	1,000	10,934	0	9,934
経常収益計	27,721,000	27,730,934	0	9,934
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	80,000	52,076	0	△ 27,924
旅費交通費	876,000	461,435	0	△ 414,565
通信運搬費	740,000	22,641	0	△ 717,359
広告宣伝費	1,000	0	0	△ 1,000
渉外費	45,000	13,760	0	△ 31,240
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	491,454	240,331	0	△ 251,123
修繕費	0	0	0	0
印刷製本費	1,000	0	0	△ 1,000
燃料費	0	0	0	0
賃借料	20,000	2,652	0	△ 17,348
保険料	0	0	0	0
諸謝金	300,000	0	0	△ 300,000
租税公課	25,000	11,200	0	△ 13,800
支払負担金	0	0	0	0
支払助成金	3,289,777	231,000	0	△ 3,058,777
支払寄附金	0	0	0	0
委託費	27,190,223	27,190,223	0	0
雑費	10,000	5,065	0	△ 4,935
事業費計(a)	33,069,454	28,230,383	0	△ 4,839,071
管理費				
管理費計(b)	0	0	0	0
経常費用計(a)+(b)	33,069,454	28,230,383	0	△ 4,839,071
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,348,454	△ 499,449	0	4,849,005
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,348,454	△ 499,449	0	4,849,005
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,348,454	△ 499,449	0	4,849,005
一般正味財産期首残高	5,348,454	5,348,454	0	0
一般正味財産期末残高	0	4,849,005	0	4,849,005
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	4,849,005	0	4,849,005

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(高付加価値イノベーション事業特別会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	内部取引 控除	差異(決算-予算)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	0	0	0	0
事業収益				
事業収益	0	0	0	0
受取補助金等				
受取国庫補助金	30,000,000	16,669,060	0	△ 13,330,940
受取負担金				
受取負担金	0	0	0	0
受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益				
受取利息	1,000	996	0	△ 4
経常収益計	30,001,000	16,670,056	0	△ 13,330,944
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	7,000,000	5,985,801	0	△ 1,014,199
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	4,783,000	3,927,026	0	△ 855,974
旅費交通費	2,759,000	2,546,309	0	△ 212,691
通信運搬費	200,000	58,955	0	△ 141,045
広告宣伝費	0	0	0	0
渉外費	1,022,000	423,188	0	△ 598,812
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	850,000	139,347	0	△ 710,653
修繕費	0	0	0	0
印刷製本費	300,000	0	0	△ 300,000
燃料費	300,000	0	0	△ 300,000
賃借料	160,000	28,470	0	△ 131,530
保険料	0	0	0	0
諸謝金	1,000,000	272,000	0	△ 728,000
租税公課	51,420	13,800	0	△ 37,620
支払負担金	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0
支払寄附金	0	0	0	0
委託費	21,660,000	10,375,120	0	△ 11,284,880
雑費	18,580	18,580	0	0
事業費計(a)	40,104,000	23,788,596	0	△ 16,315,404
管理費				
管理費計(b)	0	0	0	0
経常費用計(a)+(b)	40,104,000	23,788,596	0	△ 16,315,404
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,103,000	△ 7,118,540	0	2,984,460
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,103,000	△ 7,118,540	0	2,984,460
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	7,769,300	13,833,368	0	6,064,068
当期一般正味財産増減額	△ 2,333,700	6,714,828	0	9,048,528
一般正味財産期首残高	3,748,700	3,748,700	0	0
一般正味財産期末残高	1,415,000	10,463,528	0	9,048,528
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,415,000	10,463,528	0	9,048,528

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(伊勢志摩MaaS事業特別会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	内部取引 控除	差異(決算-予算)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	0	0	0	0
事業収益				
事業収益	0	0	0	0
受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取負担金				
受取負担金	22,000,000	22,000,000	0	0
受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益				
受取利息	1,000	12,544	0	11,544
経常収益計	22,001,000	22,012,544	0	11,544
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	1,000	0	0	△ 1,000
旅費交通費	336,000	78,700	0	△ 257,300
通信運搬費	37,000	3,297	0	△ 33,703
広告宣伝費	1,000	0	0	△ 1,000
渉外費	50,000	0	0	△ 50,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	547,545	492,647	0	△ 54,898
修繕費	0	0	0	0
印刷製本費	100,000	0	0	△ 100,000
燃料費	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
諸謝金	1,000	0	0	△ 1,000
租税公課	25,000	15,200	0	△ 9,800
支払負担金	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0
支払寄附金	0	0	0	0
委託費	25,398,650	21,948,445	0	△ 3,450,205
雑費	9,350	9,350	0	0
事業費計(a)	26,506,545	22,547,639	0	△ 3,958,906
管理費				
管理費計(b)	0	0	0	0
経常費用計(a)+(b)	26,506,545	22,547,639	0	△ 3,958,906
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,505,545	△ 535,095	0	3,970,450
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,505,545	△ 535,095	0	3,970,450
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,505,545	△ 535,095	0	3,970,450
一般正味財産期首残高	4,505,545	4,505,545	0	0
一般正味財産期末残高	0	3,970,450	0	3,970,450
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	3,970,450	0	3,970,450

令和6年度正味財産増減計算書内訳書(地域観光圏整備事業事業特別会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	内部取引 控除	差異(決算-予算)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	0	0	0	0
事業収益				
事業収益	0	0	0	0
受取負担金				
受取負担金	0	0	0	0
受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益				
受取利息	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0
減価償却費	140,225	140,225	0	0
消耗品費	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0
支払寄附金	3	3	0	0
委託費	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
事業費計(a)	140,228	140,228	0	0
管理費				0
管理費計(b)	0	0	0	0
経常費用計(a)+(b)	140,228	140,228	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 140,228	△ 140,228	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 140,228	△ 140,228	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 140,228	△ 140,228	0	0
一般正味財産期首残高	734,394	734,394	0	0
一般正味財産期末残高	594,166	594,166	0	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	594,166	594,166	0	0

令和6年度
収支決算書に関する資料
(資金ベースでの収支決算書)

【 参考資料 】

令和 6年度 一般会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目		予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入	正会員会費収入	7,400,000	7,480,000	80,000	1口20千円×374口
②負担金収入	特別会員負担金	28,687,500	28,687,500	0	伊勢市 9,687,500円 鳥羽市・志摩市 9,500,000円×2市
		1,750,000	1,750,000	0	南伊勢町
		500,000	500,000	0	玉城町・度会町・多気町・明和町・大紀町 100千円×5町
		3,000,000	3,000,000	0	伊勢市観光協会・鳥羽市観光協会・志摩市観光協会・伊勢商工会議所・鳥羽商工会議所・志摩市商工会 500千円×6団体
	特別事業負担金	2,250,000	2,250,000	0	フィルムコミッション事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市500千円×3市、南伊勢町・玉城町・度会町250千円×3町)
		4,650,000	4,650,000	0	国内誘客事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市 1,500千円×3市、南伊勢町150千円)
		9,500,000	9,500,000	0	インバウンド事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市 3,000千円×3市、南伊勢町500千円)
③委託金収入				0	
④事業収入	広告収入、販売手数料	200,000	194,965	△ 5,035	宿泊予約手数料(11,291円)、 広告収入等(127,674円)、その他(56,000円)
⑤寄付金収入		5,000,000	5,261,463	261,463	伊勢志摩WAONに係る寄附金
⑥雑収入		1,000	73,056	72,056	謝金等雑収益(50,000円)、受取利息(23,056円)
事業活動収入計(a)		62,938,500	63,346,984	408,484	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
観光情報の発信事業	インターネットによる 情報発信	3,232,000	2,257,619	△ 974,381	ホームページ保守管理業務、 特集ページ制作業務
	メディアによる情報発信	0	0	0	
	パンフレット等による 情報発信	3,139,000	1,603,800	△ 1,535,200	「美し国伊勢志摩」など印刷製本費
観光客及びコンベンションの 誘致促進及び受入体制の 整備に関する事業	インバウンド推進事業	14,300,000	11,767,580	△ 2,532,420	情報発信事業、受入支援事業
	伊勢志摩情報発信 プロモーション事業	5,227,000	5,094,466	△ 132,534	国内誘客プロモーション事業
	クルーズ船誘致及び おもてなし事業	135,000	437	△ 134,563	セールス旅費
	MICE誘致事業	2,156,000	1,988,265	△ 167,735	MICEセールス旅費、開催助成金等
	国内誘客促進事業	428,000	125,700	△ 302,300	観光関連事業参加費等、 国立公園関連事業
	伊勢志摩フィルムコミッション事業	2,300,000	858,293	△ 1,441,707	伊勢志摩映像制作撮影支援及び 情報発信費等
観光情報の調査研究及び観光 客の満足度向上に関する事業	マーケティング推進事業	455,000	265,180	△ 189,820	観光客実態調査ノベルティ購入費
観光産業及び観光文化の振興 と人材の育成に関する事業	受入体制整備事業	0	0	0	おもてなしセミナー諸謝金等
事業費支出計(b)		31,372,000	23,961,340	△ 7,410,660	

【 参考資料 】

令和 6年度 一般会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
②管理費支出				
給料手当支出	20,603,901	20,330,720	△ 273,181	時間外、通勤手当、職員給与等
報酬費支出	6,669,198	6,669,198	0	専務理事・税理士顧問報酬
福利厚生費支出	3,204,000	3,094,893	△ 109,107	専務理事・職員社会保険料、労働保険料
会議費支出	263,000	249,260	△ 13,740	理事会、総会等開催費用
旅費交通費支出	59,000	56,497	△ 2,503	総務関係旅費等
消耗品費支出	385,970	384,747	△ 1,223	事務用品、専門誌、関係図書購入等
印刷製本費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	883,801	653,780	△ 230,021	電話料、メール便、荷物配送代等
車両整備費支出	35,000	0	△ 35,000	公用車車両整備、修理費等
燃料費支出	450,000	346,898	△ 103,102	公用車ガソリン代
損害保険料支出	288,030	275,850	△ 12,180	公用車自動車保険3台
使用料及び手数料支出	589,800	554,107	△ 35,693	銀行振込手数料、コピー機使用料等
賃借料支出	3,071,000	2,966,676	△ 104,324	コピー機リース料、会計システム料、 事務所家賃、公用車リース代他
修繕費支出	5,950	0	△ 5,950	備品修繕費等
備品購入費支出	0	0	0	
負担金支出	510,000	476,800	△ 33,200	加盟諸団体会費及び負担金等
租税公課支出	290,000	228,780	△ 61,220	登記等(印紙代)、税等
委託費支出	1,115,050	1,081,520	△ 33,530	派遣職員委託料、 ネットワーク環境保守委託料
雑費支出	123,300	123,280	△ 20	クリーニング代等
管理費支出計(c)	38,547,000	37,493,006	△ 1,053,994	
事業活動支出計(d)=(b)+(c)	69,919,000	61,454,346	△ 8,464,654	
事業活動収支差額(e)=(a)-(d)	△ 6,980,500	1,892,638	8,873,138	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
他会計振替額	△ 7,769,300	△ 13,833,368	△ 6,064,068	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 14,749,800	△ 11,940,730	2,809,070	
前期繰越収支差額	25,781,735	25,781,735	0	
次期繰越収支差額	11,031,935	13,841,005	2,809,070	

【 参考資料 】

令和 6年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①負担金収入				
学誘委員負担金収入	780,000	810,000	30,000	27委員×30千円
学誘特別委員負担金収入	2,670,000	2,670,000	0	伊勢市・鳥羽市・志摩市600千円×3市、南伊勢町300千円、 特別会員30千円×11委員、三重県240千円
②雑収入	1,000	3,354	2,354	受取利息
事業活動収入計(a)	3,451,000	3,483,354	32,354	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給与手当	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
会議費	70,000	13,600	△ 56,400	
旅費交通費	1,220,000	1,180,758	△ 39,242	関東、関西方面誘致活動旅費等
消耗品費	80,000	39,796	△ 40,204	消耗品費
印刷製本費	575,850	575,850	0	ガイドブック増刷費
通信運搬費	200,000	103,007	△ 96,993	荷送料
燃料費	21,150	0	△ 21,150	
渉外費	3,170,000	3,076,017	△ 93,983	レンタカー費用、施設体験費用等
賃借料	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	
委託料	200,000	0	△ 200,000	
諸謝金	0	0	0	
支払負担金	80,000	80,000	0	
租税公課	1,000	200	△ 800	
雑費	20,000	10,780	△ 9,220	
事業費支出計	5,638,000	5,080,008	△ 557,992	
事業活動支出計(b)	5,638,000	5,080,008	△ 557,992	
事業活動収支差額(a)-(b)	△ 2,187,000	△ 1,596,654	590,346	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	

令和 6年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
Ⅲ財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
Ⅳ予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 2,187,000	△ 1,596,654	590,346	
前期繰越収支差額	5,046,344	5,046,344	0	
次期繰越収支差額	2,859,344	3,449,690	590,346	

【 参考資料 】

令和 6年度 高付加価値インバウンド協議会事業特別会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目		予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
Ⅰ 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入				0	
②事業収入	県補助金	10,000,000	10,000,000	0	県負担金等
	国調査費	20,000,000	6,669,060	△ 13,330,940	うちR5国調査費事業に対する収入 2,987,700円
③雑収入		1,000	996	△ 4	受取利息
事業活動収入計(a)		30,001,000	16,670,056	△ 13,330,944	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		7,000,000	5,985,801	△ 1,014,199	専門人材給与手当・時間外手当
福利厚生費		0	0	0	
会議費		4,783,000	3,927,026	△ 855,974	商談会出展経費等
旅費交通費		2,759,000	2,546,309	△ 212,691	国内出張・海外出張
消耗品費		850,000	139,347	△ 710,653	コピー機使用料等
印刷製本費		300,000	0	△ 300,000	
通信運搬費		200,000	58,955	△ 141,045	海外発送等
燃料費		300,000	0	△ 300,000	
渉外費		1,022,000	423,188	△ 598,812	視察対応経費等
賃借料		160,000	28,470	△ 131,530	Wi-Fi レンタル等
広告宣伝費		0	0	0	
委託料		21,660,000	10,375,120	△ 11,284,880	各種委託費
諸謝金		1,000,000	272,000	△ 728,000	翻訳・ガイド謝礼
支払負担金		0	0	0	
租税公課		51,420	13,800	△ 37,620	収入印紙代
雑費		18,580	18,580	0	振込手数料等
事業費支出計		40,104,000	23,788,596	△ 16,315,404	
事業活動支出計(b)		40,104,000	23,788,596	△ 16,315,404	
事業活動収支差額(a)-(b)		△ 10,103,000	△ 7,118,540	2,984,460	
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額		7,769,300	13,833,368	6,064,068	一般会計より繰入
Ⅳ 予備費支出		0	0	0	
当期収支差額		△ 2,333,700	6,714,828	9,048,528	
前期繰越収支差額		3,748,700	3,748,700	0	
次期繰越収支差額		1,415,000	10,463,528	9,048,528	

【 参考資料 】

令和 6年度 伊勢志摩観光MaaS事業特別会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目		予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
Ⅰ 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	特別事業負担金	22,000,000	22,000,000	0	三重県11,000千円、伊勢市・鳥羽市・志摩市3,200千円×3市、南伊勢町300千円、明和町1,100千円。
②事業収入	国補助金	0	0	0	
③雑収入		1,000	12,544	11,544	受取利息
事業活動収入計(a)		22,001,000	22,012,544	11,544	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		0	0	0	
福利厚生費		0	0	0	
会議費		1,000	0	△ 1,000	
旅費交通費		336,000	78,700	△ 257,300	大阪誘致活動旅費他
消耗品費		547,545	492,647	△ 54,898	消耗品費
印刷製本費		100,000	0	△ 100,000	
通信運搬費		37,000	3,297	△ 33,703	荷送料
燃料費		0	0	0	
渉外費		50,000	0	△ 50,000	
賃借料		0	0	0	
広告宣伝費		1,000	0	△ 1,000	
委託料		25,398,650	21,948,445	△ 3,450,205	デジタル観光マップクーポン費用
諸謝金		1,000	0	△ 1,000	
支払負担金		0	0	0	
租税公課		25,000	15,200	△ 9,800	
雑費		9,350	9,350	0	
事業費支出計		26,506,545	22,547,639	△ 3,958,906	
事業活動支出計(b)		26,506,545	22,547,639	△ 3,958,906	
事業活動収支差額(a)-(b)		△ 4,505,545	△ 535,095	3,970,450	
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額				0	
Ⅳ 予備費支出		0	0	0	
当期収支差額		△ 4,505,545	△ 535,095	3,970,450	
前期繰越収支差額		4,505,545	4,505,545	0	
次期繰越収支差額		0	3,970,450	3,970,450	

【 参考資料 】

令和 6年度 伊勢志摩せんぐう旅博事業特別会計収支決算書(資金ベース)

単位:円

科 目		予算額	決算額	差異 (決算-予算)	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	27,720,000	27,720,000	0	三重県6,870千円・伊勢市、鳥羽市、志摩市 各3,500千円、 南伊勢町 350千円、近鉄グループホールディングス 10,000千円
②事業収入		0	0	0	
③雑収入		1,000	10,934	9,934	受取利息
事業活動収入計(a)		27,721,000	27,730,934	9,934	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		0	0	0	
福利厚生費		0	0	0	
会議費		80,000	52,076	△ 27,924	会議室使用料
旅費交通費		876,000	461,435	△ 414,565	
消耗品費		491,454	240,331	△ 251,123	消耗品費
印刷製本費		1,000	0	△ 1,000	
通信運搬費		740,000	22,641	△ 717,359	荷送料
燃料費		0	0	0	
渉外費		45,000	13,760	△ 31,240	
賃借料		20,000	2,652	△ 17,348	Wi-Fi レンタル等
広告宣伝費		1,000	0	△ 1,000	
諸謝金		300,000	0	△ 300,000	
委託費		27,190,223	27,190,223	0	事業委託費(企画立案、普及啓発)
支払助成金		3,289,777	231,000	△ 3,058,777	関係団体等への補助金
租税公課		25,000	11,200	△ 13,800	
雑費		10,000	5,065	△ 4,935	
事業費支出計		33,069,454	28,230,383	△ 4,839,071	
事業活動支出計(b)		33,069,454	28,230,383	△ 4,839,071	
事業活動収支差額(a)-(b)		△ 5,348,454	△ 499,449	4,849,005	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額		0	0	0	
IV 予備費支出		0	0	0	
当期収支差額		△ 5,348,454	△ 499,449	4,849,005	
前期繰越収支差額		5,348,454	5,348,454	0	
次期繰越収支差額		0	4,849,005	4,849,005	

令和 7 年 6 月 20 日

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
会長 橋爪 政吉 様

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

監事

山岡 克樹



監事

粕本 琢希



監査結果報告書

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行いましたので、その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）、財産目録について検討いたしました。

2. 監査の意見

（1）事業報告の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において、適正に示しているものと認めます。

以上

第 3 号 議 案

令和 6 年度
収支補正予算案について

【 参考資料 】

令和 7年度 一般会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和7年度)	補正要求額	補正後予算額	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入	正会員会費収入	7,000,000		7,000,000	1口20千円×350口
	特別会員負担金	28,500,000		28,500,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市9,500千円×3市
		1,750,000		1,750,000	南伊勢町
		500,000		500,000	玉城町・度会町・多気町・明和町・大紀町 100千円×5町
		3,000,000		3,000,000	伊勢市観光協会・鳥羽市観光協会・志摩市観光協会・伊勢商工会議所・鳥羽商工会議所・志摩市商工会 500千円×6団体
	特別事業負担金	2,250,000		2,250,000	フィルムコミッション事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市500千円×3市、南伊勢町・玉城町・度会町250千円×3町)
		6,150,000		6,150,000	国内誘客事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市1,500千円×3市) 南伊勢町150千円 ※伊勢志摩ナンバー協議会1,500千円
		9,500,000		9,500,000	インバウンド事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市3,000千円×3市、南伊勢町500千円)
②委託金収入		0		0	
③事業収入	広告収入、販売手数料	200,000		200,000	宿泊予約掲載、特集記事、バナー広告、MICE紙袋
④寄付金収入		4,500,000		4,500,000	伊勢志摩WAONに係る寄附金
⑤雑収入		1,000		1,000	受取利息
事業活動収入計 (a)		63,351,000	0	63,351,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
観光情報の発信事業	インターネットによる情報発信	3,055,000		3,055,000	ホームページ保守管理業務、LINE公式アカウント利用料 伊勢志摩レポーター諸謝金
	メディアによる情報発信	0		0	
	パンフレット等による情報発信	1,386,000		1,386,000	「美し国伊勢志摩」等増刷分
観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業	安全安心観光地づくり事業	0		0	
	インバウンド推進事業	9,500,000		9,500,000	情報発信事業、受入支援事業、プロモーション事業
	伊勢志摩情報発信プロモーション事業	0		0	国内誘客促進事業へ統合
	クルーズ船誘致及びおもてなし事業	108,000		108,000	セールス旅費
	MICE誘致事業	4,440,000		4,440,000	MICEセールス旅費、開催助成金、ノベルティ作成費等
	国内誘客促進事業	7,551,000		7,551,000	観光関連事業参加費等
伊勢志摩フィルムコミッション事業		3,690,000		3,690,000	伊勢志摩映像制作撮影支援及び情報発信費等
観光情報の調査研究及び観光客の満足度向上に関する事業	マーケティング推進事業	455,000		455,000	観光客実態調査ノベルティ購入費等
観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業	受入体制整備事業	0		0	
事業費支出計 (b)		30,185,000	0	30,185,000	

【 参考資料 】

令和 7年度 一般会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和7年度)	補正要求額	補正後予算額	説 明
②管理費支出					
給料手当支出	派遣職員 時間外勤務手当	2,430,000		2,430,000	派遣職員時間外勤務手当
	派遣職員勤勉手当	4,674,000		4,674,000	派遣職員勤勉手当
	派遣職員その他手当	1,696,000		1,696,000	派遣職員通勤手当1,216千円、 管理職手当480千円
	専務理事・正規職員 雇用分	6,638,000		6,638,000	専務理事1名通勤手当36千円、 正規職員1名給与6,602千円
	契約職員雇用分	5,296,000		5,296,000	契約職員2名給与
福利厚生費支出	社会保険料等	2,570,000	10,000	2,580,000	社会保険料事業主負担分等(専務理事、正規職員、契約職員) 補正:インバウンド担当職員採用分10千円
	労災保険料・雇用保険料	450,000		450,000	労災保険料(全職員)、雇用保険料(正規職員、契約職員)
	中小企業退職共済掛金	264,000		264,000	中小企業退職共済掛金(正規職員、契約職員)
報酬費支出		6,612,000		6,612,000	専務理事報酬5,600千円、税理士顧問報酬880千円、社労士顧問報酬132千円
会議費支出		60,000		60,000	理事会、総会等開催費用
旅費交通費支出		79,000		79,000	総務関係研修旅費等
消耗品費支出		419,000		419,000	事務用品、専門誌、関係図書購入等
印刷製本費支出		0		0	
通信運搬費支出		999,000		999,000	電話料、メール便、荷物配送代等
車両整備費支出		50,000		50,000	車両整備、修理費等
燃料費支出		396,000		396,000	公用車ガソリン代
損害保険料支出		277,000		277,000	公用車自動車保険3台
使用料及び手数料支出		516,000		516,000	銀行振込手数料、コピー機使用料等
賃借料支出		3,257,000	12,000	3,269,000	コピー機リース料、会計システム料、事務所家賃、公用車リース代、PCリース他 補正:会計システム12千円
修繕費支出		50,000		50,000	備品修繕費等
備品購入費支出				0	
備品購入費支出		0		0	
負担金支出		480,000		480,000	加盟諸団体会費及び負担金等
租税公課支出		10,000		10,000	登記等(印紙代)、税等
委託費支出		768,000		768,000	GoogleWorkspace維持管理費及びハードウェア保守管理費
雑費支出		105,000		105,000	クリーニング代等
管理費支出計 (c)		38,096,000	22,000	38,118,000	
事業活動支出計 (d) = (b) + (c)		68,281,000	22,000	68,303,000	
事業活動収支差額 (e) = (a) - (d)		△ 4,930,000	△ 22,000	△ 4,952,000	

【 参考資料 】

令和 7年度 一般会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目	今年度予算 (令和7年度)	補正要求額	補正後予算額	説 明
II 投資活動収支の部	0	0	0	
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
他会計振替額	△ 219,000	10,463,528	10,244,528	・MaaS事業へ100千円・ ・高付加価値インバウンド事業へ119千円 ・高付加価値インバウンド事業より戻入 10,463,528円
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額 (e)	△ 5,149,000	10,441,528	5,292,528	
前期繰越収支差額	12,446,935	1,394,070	13,841,005	
次期繰越収支差額	7,297,935	11,835,598	19,133,533	

【 参考資料 】

令和 7年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計 補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入	学誘委員会費収入	810,000	0	810,000	1口30千円×27委員
②負担金収入	学誘特別委員負担金	1,800,000	0	1,800,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市 600千円×3市
		300,000	0	300,000	南伊勢町 300千円
		240,000	0	240,000	三重県 240千円
		330,000	0	330,000	特別委員 30千円×11委員
③雑収入		1,000	0	1,000	受取利息
事業活動収入計 (a)		3,481,000	0	3,481,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		0	0	0	
福利厚生費支出		0	0	0	
会議費支出		70,000	0	70,000	
旅費交通費支出		1,677,000	100,000	1,777,000	関東、関西、中部、山陽、四国、台湾
消耗品費支出		80,000	103,690	183,690	コピー使用料、消耗品 等
修繕費支出		0	0	0	
印刷製本費支出		700,000	0	700,000	ガイドブック新規作成
通信運搬費支出		200,000	0	200,000	
広告宣伝費		0	0	0	
渉外費		3,364,000	500,000	3,864,000	東武トップツアーズ JNTO台湾教育旅行視察招聘 食事代 等
燃料費支出		25,000	0	25,000	
光熱水料費		0	0	0	
賃借料支出		10,000	0	10,000	Wi-Fi レンタル料 等
諸謝金		0	0	0	
負担金支出		80,000	0	80,000	全修協・日修協
租税公課支出		1,000	0	1,000	
委託費支出		0	0	0	
雑費支出		20,000	0	20,000	振込手数料 等
事業費支出計		6,227,000	703,690	6,930,690	
事業活動支出計 (b)		6,227,000	703,690	6,930,690	
事業活動収支差額 (a) - (b)		△ 2,746,000	△ 703,690	△ 3,449,690	

【 参考資料 】

令和 7年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計 補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
II	投資活動収支の部			0	
1.	投資活動収入	0	0	0	
2.	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	0	
III	財務活動収支の部			0	
1.	財務活動収入	0	0	0	
2.	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額 (e)	△ 2,746,000	△ 703,690	△ 3,449,690	
	前期繰越収支差額	2,859,344	590,346	3,449,690	
	次期繰越収支差額	113,344	△ 113,344	0	

【 参考資料 】

令和 7年度 高付加価値インバウンド事業特別会計 補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	9,000,000	0	9,000,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市 3,000千円×3市
		1,000,000	0	1,000,000	南伊勢町・明和町 500,000×2町
②事業収入	県補助金	10,000,000	0	10,000,000	県補助金
	国調査費	0	14,500,000	14,500,000	観光庁モデル地域事業 【同事業費1.66億円中、当会計への収入見込み】
③雑収入		1,000	0	1,000	受取利息
事業活動収入計 (a)		20,001,000	14,500,000	34,501,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		10,000,000	4,800,000	14,800,000	専門人材派遣費用等 10,000,000円 【時間外手当等 480万円】
福利厚生費支出	社会保険料等	1,000,000	0	1,000,000	社会保険料等 1,000,000円×1名
会議費支出		4,000,000	0	4,000,000	ILTM Asia Pacific ILTM Cannes
旅費交通費支出		1,700,000	3,000,000	4,700,000	ILTM Asia Pacific・ILTM Cannes 旅費等 【ILTM旅費・ILTM以外国内外旅費 300万円】
消耗品費支出		35,000	150,000	185,000	説明会などの消耗品代 【コピー機使用料等 15万円】
修繕費支出		0	0	0	
印刷製本費支出		0	0	0	
通信運搬費支出		300,000	0	300,000	海外への資料送付等
広告宣伝費		0	0	0	
渉外費		50,000	3,000,000	3,050,000	海外ファムトリップ用 5,000円×10回 【海外旅行保険・ファム関連経費・事業関係者旅費等 300万円】
燃料費支出		0	0	0	
使用料及び手数料		0	0	0	
光熱水料費		0	0	0	
賃借料支出		10,000	50,000	60,000	Wi-Fiレンタル等 【Wi-Fiレンタル等 5万円】
諸謝金		0	500,000	500,000	【有識者・専門家 登壇等謝礼 50万円】
負担金支出		0	0	0	
租税公課支出		15,000	0	15,000	印紙購入
委託費支出		3,000,000	3,000,000	6,000,000	か'it'育成、ネットワーク構築 3,000,000円 【事務局支援業務委託等 300万円】
雑費支出		10,000	0	10,000	振込手数料等
事業費支出計 (b)		20,120,000	14,500,000	34,620,000	
事業活動収支差額		△ 119,000	0	△ 119,000	

【 参考資料 】

令和 7年度 高付加価値インバウンド事業特別会計 補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額		119,000	△ 10,463,528	△ 10,344,528	一般会計へ戻入
Ⅳ 予備費支出				0	
当期収支差額 (e)		0	△ 10,463,528	△ 10,463,528	
前期繰越収支差額		0	10,463,528	10,463,528	
次期繰越収支差額		0	0	0	

【 参考資料 】

令和 7年度 公共交通を活用した伊勢志摩周遊デジタル化推進事業特別会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	11,000,000	0	11,000,000	三重県
		9,600,000	0	9,600,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市 3,200千円×3市
		300,000	0	300,000	南伊勢町
		1,100,000	0	1,100,000	明和町
②事業収入		0	0	0	国補助金
③雑収入		1,000	0	1,000	受取利息
事業活動収入計 (a)		22,001,000	0	22,001,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		450,000	300,000	750,000	MaaS事業分時間外手当
臨時職員賃金		0	0	0	
臨時職員手当		0	0	0	
福利厚生費		0	0	0	
会議費支出		1,000	0	1,000	会議室使用料
旅費交通費支出		336,000	372,000	708,000	・打合せ等営業活動 (東京) 1泊 42,000円/人×2名×4回 ＝ 336,000円 ・ツーリズムEXPOジャパン (名古屋) 1泊 21,000円/人×3名×4泊 ＝ 252,000円 ・大阪・関西万博 (大阪) 1泊 20,000円/人×3名×2泊
消耗品費支出		592,000	0	592,000	事業に係る消耗品 等
印刷製本費支出		100,000	500,000	600,000	チラシ増刷 等
賃借料		0	0	0	
広告宣伝費支出		1,000	0	1,000	
渉外費		45,000	0	45,000	手土産代 等
諸謝金		1,000	0	1,000	
燃料費		0	0	0	
使用料及び手数料支出		0	0	0	
通信運搬費支出		37,000	200,000	237,000	郵送料 等
支払負担金		0	0	0	
支払助成金		0	0	0	
支払寄付金		0	0	0	
委託費		20,500,000	2,548,450	23,048,450	・伊勢志摩観光型MaaS周知プロモーション 14,000,000円[プロポーサル実施予定] ・個人情報管理及びカスタマーサポート業務委託 4,000,000円 ・自治体施策連携委託料 2,500,000円 ・プロモーション上乗せ分 2,548,450円
租税公課支出		30,000	30,000	60,000	印紙購入
雑費支出		8,000	20,000	28,000	振込手数料
事業費支出計		22,101,000	3,970,450	25,321,450	
事業活動支出計 (b)		22,101,000	3,970,450	25,321,450	
事業活動収支差額 (a)－(b)		△ 100,000	△ 3,970,450	△ 3,320,450	

【 参考資料 】

令和 7年度 公共交通を活用した伊勢志摩周遊デジタル化推進事業特別会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額		100,000	0	100,000	
Ⅳ 予備費支出					
当期収支差額 (e)		0	△ 3,970,450	△ 3,970,450	
前期繰越収支差額		0	3,970,450	3,970,450	
次期繰越収支差額		0	0	0	

【 参考資料 】

令和 7年度 いせしませんぐう旅事業特別会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	6,870,000	0	6,870,000	三重県
		10,500,000	0	10,500,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市 3,500千円×3市
		350,000	0	350,000	南伊勢町
		400,000	0	400,000	玉城町・度会町 200千円×2町
		6,870,000	0	6,870,000	近鉄グループホールディングス(株)
②雑収入		1,000	0	1,000	受取利息
事業活動収入計 (a)		24,991,000	0	24,991,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		450,000	1,000,000	1,450,000	せんぐう事業分時間外手当 1,000,000円
臨時職員賃金		0	0	0	
臨時職員手当		0	0	0	
福利厚生費		0	0	0	
会議費支出		180,000	0	180,000	会議室使用料 10,000円×4会場×2回 講演会場使用料 50,000×2回
旅費交通費支出		876,000	0	876,000	・セールス活動及び展示会等出展 (東京) 2泊 54,000円/人×2名×5回 ＝540,000円 ・講演会打合せ (東京) 1泊 42,000円/人×2名×4回 ＝336,000円
消耗品費支出		337,000	0	337,000	消耗品 等
印刷製本費支出		1,000	0	1,000	
賃借料		20,000	0	20,000	Wi-Fi レンタル料 等
広告宣伝費支出		1,000	0	1,000	
渉外費		45,000	0	45,000	営業活動に係る手土産代 15事業者×3,000円
諸謝金		240,000	0	240,000	・講演会講師諸謝金 30,000円×8回
燃料費		0	0	0	
使用料及び手数料支出		0	0	0	
通信運搬費支出		516,000	0	516,000	事業者配布用 レターパック 430円×1,200部
支払負担金		0	0	0	
支払助成金		0		0	
支払寄付金		0	0	0	
委託費		22,280,000	3,759,005	26,039,005	・プロモーション業務 10,000,000円[プロポーサル実施予定] ・ツール等作成業務 2,000,000円 ・のぼり等作成業務 2,000,000円 ・LP作成及び業務 8,280,000円 ・近鉄車両ボディシート 2,000,000円 ・冊子等作成委託 1,000,000円 ・商標登録委託 759,005円
租税公課支出		35,000	90,000	125,000	・商標登録印紙代 90,000円
雑費支出		10,000	0	10,000	振込手数料
事業費支出計		24,991,000	4,849,005	29,840,005	
事業活動支出計 (b)		24,991,000	4,849,005	29,840,005	
事業活動収支差額 (a)－(b)		0	△ 4,849,005	△ 4,849,005	

【 参考資料 】

令和 7年度 いせしませんぶう旅事業特別会計補正収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		補正前予算額	補正要求額	補正後予算額	説 明
II	投資活動収支の部				
1.	投資活動収入	0	0	0	
2.	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	0	
III	財務活動収支の部				
1.	財務活動収入	0	0	0	
2.	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額 (e)	0	△ 4,849,005	△ 4,849,005	
	前期繰越収支差額	0	4,849,005	4,849,005	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

報告事項

- ・ 正会員の入会の報告

正会員の入会の報告

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構定款第6条第1項及び
公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構入退会規程第2条第2項
の規定に基づき、次の者を正会員として入会することを認める。

入会日	会社名	代表者名	住所	事業内容
令和7年 4月1日	神楽サロン有限会社	代表取締役 奥山 秀朗	伊勢市本町 20-24 通信 館	旅行
令和7年 4月1日	NONKI 合同会社	代表社員 西岡 正隆	度会郡南伊勢町五ヶ所 浦 941-15	ニューツーリ ズム
令和7年 5月14日	株式会社タイミー	代表取締役 小川 嶺	東京都港区東新橋 1-5- 2 汐留シティセンター 3 5階	その他
令和7年 5月14日	TOTO 株式会社 中部支社	執行役員 中部支社長 中村 徹郎	愛知県名古屋市中村区 名駅 3-28-12 大名古屋ビルディング 1 2階	製造業
令和7年 5月14日	株式会社 芙蓉有馬御苑 (安楽島温泉 湯元 海女乃島)	代表取締役 吉田 明倫	鳥羽市安楽島町 1075- 100	宿泊施設
令和7年 5月26日	伊勢西村ハイヤー有限会社	代表取締役 西村 有子	三重県伊勢市前山町 1292-5	運輸
令和7年 6月17日	株式会社ウェバレッジ (ごかつら池どうぶつパーク)	代表取締役 高橋 文彦	神奈川県横浜市緑区三 保町 1911-17	観光施設
令和7年 6月17日	株式会社宮忠	代表取締役 川西 治正	三重県伊勢市 岡本 1-2-38	製造業